

ヲ除キ其外現場ニ在ル品物ハ孰レモ官ニ取上ルルナリ
第二百六十二條 財物ヲ齎集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖
スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁
錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

財物ヲ持寄り富籤ヲ引キテ利益ヲ萬一ニ得ントスルハ
矢張博奕ト同様ニテ世間ノ正業ヲ妨ケ風俗ヲ亂ル仕業
ナレバ人ヲ集メテ其事ノ興行ヲシタル者ニハ本文ノ禁
錮罰金ヲ申付ルナリ

第二百六十三條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公然
不敬ノ所爲アル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處
ス
若シ說教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ四圓以上四十圓
以下ノ罰金ニ處ス

神社佛堂墓所其外人ノ參詣スル遙拜所ノ類ハ常々人ノ
尊敬スル場所ナレバ之ニ向テ表向無禮ノ所行シタル者
ハ本文前段ノ罰金ヲ申付若シ說教又ハ參詣ヲ妨ケタル
者ハ本文後段ノ罰金ヲ申付ルナリ此外墓碑並ニ路上ノ
神佛ヲ毀損シ又ハ之ヲ汚穢シ神社佛堂ヲ汚損スル類ハ
違警罪第四百二十六條ニテ罰スル者ナリ

第七章 死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪 凡三條
此章ハ人ノ死屍ヲ毀リ棄置ハ墓所ヲ發掘スル罪ヲ定ムル
ナリ

第二百六十四條 埋葬ス可キ死屍ヲ毀棄シタル者ハ一
月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下
ノ罰金ヲ附加ス
此條ノ意ハ現在埋葬ス可キ死骸アルニ埋葬セズ遺恨晴

死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

ラシニ毀リ傷ツケ又ハ埋葬ノ手數ヲ厭ヒテ道路カ水中ニ棄テ去ルナドハ人情ニ背キ人ノ大禮ヲ亂ル者ナレハ此レニハ一箇月以上一箇年以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ申付ルトナリ此外無免許ニテ死骸ヲ解剖シ自己ノ所持地ニ在ル死骸ヲ他所ニ移シ又ハ死骸アル旨ヲ役所ニ届ケヌ罪ハ違警罪第四百二十五條ニ罰スルナリ

第二百六十五條

墳墓ヲ發掘シテ棺槨又ハ死屍ヲ見ハシタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
因テ死屍ヲ毀棄シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
此條前段ノ意ハ遺恨ナドノヲメニ墓所ヲ掘リ發キテ棺

槨内ニ在ルヲ棺ト云外ニ在ルヲ槨ト云又ハ死骸ヲ見ハシタル者ハ其死骸ニ手ハ着ケヌモ二箇月以上二箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ申付ルトナリ
又後段ノ意ハ右ノ如ク墓所ヲ發キテ死骸ヲ出シタル上其死骸ヲ毀リ又ハ棄去リタル者ハ三箇月以上三箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ申付ルトナリ

第二百六十六條

此章ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス
此章ノ犯罪ハ犯罪相當ノモノナレド常並ノ犯罪トハ違ヒ至極性ノ惡キ仕業ナレハ、マダ其事ヲ仕遂ケヌ者ト雖モ總則第一百十二條未遂犯罪ノ例ニ引合セ一段カ二段減

死屍ヲ毀棄シ及ヒ墳墓ヲ發掘スル罪

シテ罰スルナリ

第八章 商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪 凡六條

此章ハ利慾ノタメニ偽計カ威力ヲ以テ商賣農業職工ヲ
妨ゲ人ノ自由ヲ害スル罪ヲ定ムル部ナリ其妨害ヲ爲ス
ハ一私人ニ向ツテスルヨリハ重モニ其商賣農業職工ノ
上ニ就テスル者ナレバ管ノ及ブ所モ廣キニニ公益犯罪
トシケル者ナリ

第二百六十七條 偽計又ハ威力ヲ以テ穀類其他衆人ノ
需用ニ缺ク可カラサル食用物ノ賣買ヲ妨害シタル者
ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓
以下ノ罰金ヲ附加ス
前項ニ記載シタル以外ノ物品ノ賣買ヲ妨害シタル者
ハ一等ヲ減ス

偽計トハ詐偽ノ計畧ニテ人ヲ誑カシ己ガ術中ニ陷イル
、ナ謂ヒ跡形モナキ事柄ヲ言ヒ觸ラシ或ハ貼紙スル類
ナルベシ威力トハ威勢暴力トテ力ヅクノ仕業ヲ謂ヒ多
勢徒黨ヲ組ミテ市場ノ通路ヲ妨ゲ又ハ店先ノ邪魔ヲス
ル類ナルベシ斯様ノ道ヲラヌ仕業ヲ以テ米、麥、豆、粟ノ穀
物類其外味噌、醬油、茶、鹽、酒、野菜ノ如キ衆人ノ朝夕入用ア
リテ一日モ無クテナラヌ食物ノ賣買ヲ邪魔スル時ハ其
害賣買雙方ノ二人三人ノ上ニ止マラズ自然商賣モ衰
へ衆人が難澁ノ基トモナレバ自身ガ利慾ノ爲メニスル
ト他人ノ爲メニスルトノ差別ナク孰レモ本文前段ノ禁
錮罰金ヲ申付ルナリ
又右ノ穀物食物類ヨリ外ノ品ニテ衆人ノ無クテナラヌ
油、炭、薪、反物、陶器其外何品ニ限ラズ商品ノ賣買ヲ邪魔ス

商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

ルハ前ノ食物ノ賣買ヲ邪魔スルヨリハ輕キユエ夫レニ一段ヲ引下ケテ二十三日以上四箇月十五日以下ノ重禁 罰二圓二十五錢以上二十二圓五十錢以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第二百六十八條

偽計又ハ威力ヲ以テ糶賣又ハ入札ヲ妨害シタル者ハ十五日以上三月以下ノ重禁罰ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

詐偽ノ計略又ハ威勢暴力ヲ以テ他人ガ人ヲ集メテ何品カヲ付ケ直ノ高キ方へ賣渡サントスル糶賣又ハ請負競買ヲドノ入札ヲ邪魔スルハ前條ノ世間普通ノ商賣ヲ邪魔スルヨリハ輕キユエ此レニハ本文ノ禁罰金ヲ申付ルナリ

第二百六十九條

偽計又ハ威力ヲ以テ農工ノ業ヲ妨害

シタル者ハ亦前條ニ同シ

詐偽ノ計畧又ハ威勢暴力ヲ以テ耕作職工ノ業ヲ邪魔シタル者ハ前々條普通ノ商賣ヲ邪魔シタル者ヨリハ輕ク前條一種ノ商賣ヲ邪魔シタル者ト同シ鈎合ノ罪ナレハ夫レト同ク十五日以上三箇月以下ノ重禁罰二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第二百七十條

農工ノ雇人其雇賃ヲ増サシメ又ハ農工業ノ景況ヲ變セシムル爲メ雇主及ヒ他ノ雇人ニ對シ偽計威力ヲ以テ妨害ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁罰ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

開墾、耕作、牧畜ナドノ農業ニ使ハレ掘山、製造、建築ナドノ工事ニ使ハル、雇人ノ身ニテ約束又ハ舊慣ニテ定マリ

商業及ヒ農工ノ業ヲ妨害スル罪

アル賃錢ノ高チ増サセ又ハ働キ時間ヲ縮メ休暇ヲ増ス
 ナド總テ農工事業ノ景況ヲ變ヘサセソガタメニ五ヒニ
 相語ヲヒテ雇主ヤ外ノ雇人ニ對シ詐偽ノ計畧又ハ威勢
 暴力ヲ以テ其職業ノ邪魔ヲナスハ己ガ道ヲラヌ利慾ノ
 タメニ他人ノ農業工事ニ損失ヲ掛ケ隨テ世間ノ繁昌ヲ
 害スル者ナレバ此レニハ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ

第二百七十一條 雇主其雇賃ヲ減シ又ハ農工業ノ景況
 ナ變スル爲メ雇人及ヒ他ノ雇主ニ對シ偽計威力ヲ以
 テ妨害ヲ爲シタル者ハ亦前條ニ同シ

農業工事ノ雇主タル身ニテ雇人ニ拂フベキ賃錢ノ約束
 又ハ舊慣ニテ定マリアル高チ減ラシ又ハ働キ時間ヲ延
 バシ休暇ノ日數ヲ減ラスナド總テ農工事業ノ景況ヲ變
 ヘソガタメニ雇人ヤ外ノ雇主ニ對シテ詐偽ノ計略又ハ

威勢暴力ヲ以テ其職業ノ邪魔ヲ爲スハ丁度前條ノ雇人
 ガ雇主ニ對シテ邪魔スル仕業ノ反對ニテ己ガ道ヲラヌ
 利慾ノタメニ雇人並ニ外ノ雇主ニ損失ヲ掛ケ隨テ世間
 ノ繁昌ヲ害スル者ナレバ是亦前條ノ罰ト同ク一箇月以
 上六箇月以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ申
 付ルナリ

第二百七十二條 虛偽ノ風説ヲ流布シテ穀類其他衆人
 需用物品ノ價直ヲ昂低セシメタル者ハ十圓以上百圓
 以下ノ罰金ニ處ス

此條ハ己ガ利慾ニ因テ安隱無事ノ時ニ戰爭ガ起ルトカ
 豐年ナルニ不作ナリトカ又ハ洪水ニテ運輸ガ止マリタ
 ルナド、アヲレヌ風説ヲ觸レ廻ハリテ米、麥、豆、粟類其外味
 噌、醬油、酒、炭、薪、油ナド衆人ノ朝夕入用アリテ一日モ無ク

テナラヌ物品ノ價直ヲ昂ゲタリ低ゲタリサスルハ已ガ
道ナラヌ利慾ノタメニ世間自然ノ物價ヲ妨グ多數ノ人
ニ難澁ヲ掛クル者ナレハ隨分其罪ハ重ケレト之ヲ信用
スルトセザルトハ全ク他人ノ心ニ在リテ前條々ノ罪ノ
如ク偽計又ハ暴力ヲ以テ直接ニ之ヲ妨害スル者トハ同
シカラズ且全ク商賣上ノ惡事ナレハ唯々本文ノ罰金ノ
ニ申付ルナリ

第九章 官吏瀆職ノ罪

凡三節 十九條

官吏瀆職ノ罪トハ役人ガ其職務ニ付當然爲サテハナラ
ヌ事ヲ爲サズ或ハ爲テハナラヌ事ヲ爲シ其外賄賂ヲ貪
リ我が預リノ金錢ヲ盜ムナド總テ役人ニ有ルマシキ
ヲ爲シテ其職務ヲ瀆シ辱カシムル惡事ヲ云フ今其節目
ヲ掲グレハ官吏公益ヲ害スル罪、官吏人民ニ對スル罪、官

吏財産ニ對スル罪ノ三類ナリ

第一節 官吏公益ヲ害スル罪

凡三條

此節ハ政府ニ使ハル、役人ノ身トシテ豫テ政府ニ
リ世間一體ノ利益ノタメニ設ケ置カル、法律規則
ノ施行ヲ妨ケ又ハ相當ノ職務ヲ行ハズ禁制ノ商業
ヲ營ムナド總テ世間ノ公益ヲ害スル罪ヲ定メ役目
ノ上ノ犯罪ユエニ定役ナキ輕禁錮ト罰金トニテ罰
スルナリ、サレトモ總則第三十三條ニ依リ無論現任ノ
官職ハ取上ケラルベシ

第二百七十三條 官吏其管掌ニ係ル法律規則ヲ公布施
行モス又ハ他ノ官吏ノ公布施行ヲ妨害シタル者ハ二
月以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下
ノ罰金ヲ附加ス

凡ソ法律規則ノ設ケアルハ一トシテ公益保護ノ爲メナ
 シヌハ無ケレバ上ハ太政大臣ヨリ下ハ郡長戸長ニ至ル
 マテ苟モ政府ノ役人タル身分ニテ我が管掌ニ係ル法律
 規則ノ公布スベキモノアルニ公布サズ己デニ公布ハシ
 テモ、コレニ因テ施行スベキ事柄アルニ施行セズ又ハ外
 ノ役人ガ自親ノ管掌アルニ因テ公布施行スルコトアルニ
 其邪魔ヲ爲シ故意壅蔽ノ任業アリテハ忽チ公益ノ害ト
 ナルハ言チ俟タズ、サレバ斯様ノ任業アル者へハ本文ノ
 禁錮罰金ヲ申付ケ其上總則第三十三條ニ依テ其役目ヲ
 モ取上ルナリ

第二百七十四條 兵隊ヲ要求シ及ヒ之ヲ使用スル權ア
 ル官吏地方ノ騷擾其他兵權ヲ以テ鎮撫ス可キ時ニ當
 リ其處分ヲ爲サ、ル者ハ三月以上三年以下ノ輕禁錮

ニ處シ二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

此條ノ意ハ役目ニ因リテ兵隊ノ繰出ヲ求メ並ニ兵隊ヲ
 使ヒ用ル權力アル府知事、縣令、警視總監、檢事ナドガ其地
 方ニテ一揆内亂其外警察ノ力及ハズ兵隊ノ力ニ頼ラズ
 ハ逆モ、騷動ヲ取鎮ムルニ足ラヌ時ニ當リテ近傍ニ在ル
 鎮台カ又ハ軍艦ニ兵隊ノ繰出ヲ求メズ故意取鎮メノ處
 分ヲナサズシテ其儘等閑ニ捨置クハ暴徒蔓延ノタメ
 ニ世間ノ難澁少ナカラヌニ其人ノ如何ナル所存ニ出
 タルヲ問ハズ孰レモ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルトナリ〔但
 一揆内亂ヲ助ル爲メナレハ其共犯トシテ罰セラル〕

併此條ノ犯罪ハ前ノ第一百七十七條ノ犯罪ト表裏ヲナス
 モノニテ彼條ノ犯罪ハ此條ノ兵隊ヲ要求スル權アル役
 人ヨリ其繰出ヲ求ムル時別ニ是レト云フ事故モナキニ

其求メニ應セズ取鎖メノ機會ヲ失ヒタル惡事ニテ其罰ハ二箇月以上二箇年以下ノ輕禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ナルニ此條ハ唯其繰出ヲ求メヌノミニテ本文三箇月以上三箇年以下ノ輕禁錮二十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ申付ラレ彼レト此レトハ大ニ輕重ノ差別アル譯ハ全體此條ニ云フ兵隊要求ノ權アル人ハ素ト其地方ヲ安穩ニ治メ護ルガ職分ニテ一揆内亂ノ事情モ軍人ヨリハ委シキ筭ユニ假令ヒ自親ハ武官ナラヌモ我が配下ニ騷動アリテ兵力ナラズハ取鎖メ難キ時ハ早速出兵ヲ求メテ相當ノ處分ニ及フガ當然ナルニ左ハセズシテ取鎖メノ機會ヲ失ヒタルハ彼ノ陸海軍ノ將校ガ僅カニ兵隊ヲ指揮スルノミノ權力アリテ其筋ノ命令又ハ要求ナクテハ擅ニ動クノ出來ヌ役目ヲ以テ其筋ノ求メニ應セザ

第二百七十五條 官吏規則ニ違背シテ商業ヲ爲シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

凡ソ役人タル人ハ其役目ニ因テ政府ノ權力ヲ使用シ相場事ナリ商賣事ナリ自由ニ世間ノ景況ヲ知り得ルノミナラズ布告布達ノ事柄ニ因リ商賣上ニ差響ヲ及ホスナラシム時モ役人ハ、マダ其騰出ノアル前ニ委シシ其事ヲ知ル者ユニ之ニ商賣ヲ許スルハ役人ハ、イツモ金儲ケノミ多ク商人共ハ、イツモ損耗ノミ多カルベク賄賂行ハレ依怙最負ノ沙汰アルモ多クハ此邊ヨリ出ル者ナレハ土地家屋ヲ所持シ金銀ヲ貸シ我が所持ノ地面ヨリ生スル品物ニ製作ヲ加ヘ又ハ害ナクテ益アル會社ノ株主トナリテ其利益ヲ収ムル額ノ外ハ豫テ別段ノ規則ヲ以テ禁

シ若シ之ニ背カバ公益ノ犯罪人トシテ本文ノ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第二節 官吏人民ニ對スル罪 凡十三條

此節ハ凡ソ政府ノ役人タルモノガ人民保護ノ職分ヲモ願ミズ却テ其役儀ノ上ニテ人民ノ權利自由ヲ妨害スル罪ヲ定ムルナリ

第二百七十六條

官吏擅ニ威權ヲ用ヒ人ヲシテ其權利ヲキ事ヲ行ハシメ又ハ其爲ス可キ權利ヲ妨害シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

此條ノ意ハ凡ソ役人タル身分ニテ擅マ、ニ役儀ノ上ノ威權ヲ振ヒ人ノ行フベキ權利ヲキ事ヲ行ハセ又ハ爲スベキ權利アル事ヲサセズシテ其權利自由ヲ妨ケタル者

ハ十一日以上二箇月以下ノ輕禁錮ニ行ヒ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加スルトナリ權利ヲキ事ヲ行ハストハ例ヘハ營業鑑札ナシテハ爲ストノ出來ヌ商賣ヲサセ公權剝奪ヲ受ケタル者ヲ強サテ官ニ就カス類ヲ云フ權利アル事ヲサセストハ例ヘハ證人トナルベキ權利アル人ヲ拒ンテ證人トナルヲ許サズ議員トナルベキ權利アルニ之ヲ拒ンテ許サヌ類ヲ云フ

第二百七十七條 人ノ身體財產ヲ妨害スルノ犯人アルニ當リ豫審判事檢事警察官吏其報告ヲ受ケテ速ニ保護ノ處分ヲ爲サ、ル者ハ十五日以上三月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

人ノ身體財產ヲ妨害スルノ犯人トハ謀殺故殺、毆打創傷、脅迫、監禁、強姦、幼者老疾者ヲ遺棄スル罪、人ノ住所ヲ侵ス

罪、強竊盜、放火、家屋物品ヲ毀壞スル罪等ノ犯人ヲ云フ斯
 様ノ犯人アルニ當ツテハ豫審判事、檢事、警察官吏タル者
 ハ治罪法第三編第八節ニ依リ聞込次第ニ其場ニ馳付犯
 人ヲ押へ被害入ヲ救ヒ現場ノ景況ヲ取調ブルナド夫々
 保護ノ處分ヲナスヘキ善ナルニ事ノ報知マデ受ケ乍ラ
 尙ホ其處分ヲナサズ犯人ニ惡事ヲ遂ケサセ被害入ノ不
 幸ヲ救ハヌハ平常政府ノ信任ニ背キ人民ノ難澁ヲ顧ミ
 ス仕業ナレバ此レニハ十五日以上三箇月以下ノ輕禁錮
 二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加スルナリ

第二百七十八條 逮捕官吏法律ニ定メタル程式規則ヲ
 遵守セスンテ人ヲ逮捕シ又ハ不正ニ人ヲ監禁シタル
 者ハ十五日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上三
 十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル毎

二 等ヲ加フ

逮捕官吏トハ罪アル人ヲ召捕ルベキ役人ノ義ニテ豫審
 判事、檢事、司法警察官、巡查ナドヲ云フ程式規則トハ人ヲ
 召捕ルコトニ付治罪法ニ定メタル總テノ法式規則ヲ云フ
 逮捕トハ拘引又ハ捕縛スルヲ云フ凡ソ人身ノ自由ハ人
 民ノ諸權利中最モ大切ノ權利ニテ之レアリテ始メテ此
 世ヲ安樂ニ渡ル者ナリ故ニ如何ナル役人ニテモ無罪ノ
 人ハ勿論假令ヒ罪アルモ擅ニ其身ノ自由ヲ害スルヲ許
 サズ豫テ治罪法ニ嚴重ノ規則アレバ其法式ニ遵ガハ子
 ハ如何様ノ事アリヒ人ヲ召捕ルコトハナラヌモノナリ然
 ルテ其程式規則ヲ守ラズシテ人ヲ召捕リ又ハ不法ニ監
 禁ハ法律ニ背キ人民ヲ害スルコト重キモノニ此レニハ
 輕禁錮ノ寛刑ヲ用ヒズシテ本文ノ重禁錮ト罰金ヲ申付

ケ監禁日數ノ十日タツゴトニ其刑一段ヲ加ヘテ罰スル
ナリ例ヘハ十日以上二十日以下ナレハ十八日以上三箇
月二十二日以下ノ重禁錮二圓五十錢以上二十五圓以下
ノ罰金ヲ申付ケ二十日以上三十日以下ナレハ二十二日
以上四箇月十五日以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ
罰金ヲ申付ルヲ云フ

第二百七十九條 司獄官吏程式規則ヲ遵守セスシテ囚
人ヲ監禁シ若クハ囚人ヲ出獄セシム可キノ時ニ至リ
之ヲ放免セサル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

司獄官吏トハ獄舎ヲ司トル役人ヲ云フ此役人ハモト罪
人ヲ囚テヘ置クヲ役口トスルモノナレバ、ソレニハ又
法式規則アリテ囚フベキハ之ヲ囚テヘ免ルスヘキハ之
ヲ免ルシ擅ニ不法ノ取計ヒスルヲ許サヌ者ナルヲ、ソレ

ニ背キテ已決カ未決ノ囚人ヲ不法ニ獄舎ニ囚テヘ置或
ハ囚人ノ中ニ假出獄ノ處分ヲ受クルカ仕置期限ノ滿チ
タルニ因テ當然出獄スベキモノ其外下吟味ノ濟ミタル
ニ因テ放免セラルヘキ者ナドアルニ之ヲ放免セヌ時ハ
人ノ自由ヲ害スルヲ矢張前條ト同様ナレバ其罰モ前條
ノ例ト同ク十五日以上三箇月以下ノ重禁錮二圓以上二
十圓以下ノ罰金ヲ申付ケ監禁日數十日タツゴトニ其刑
一段ヲ如ルナリ

第二百八十條 前二條ニ記載シタル官吏又ハ護送者囚
人ニ對シ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタ
ル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
因テ囚人ヲ死傷ニ致シタル時ハ殴打創傷ノ各本條ニ

照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

前二條ニ書載セアル逮捕司獄ノ役人又ハ囚人ヲ護送スル役人ニテ囚人ニ對シ規則ニ依テ相渡スベキ飲食物又ハ衣類ヲ極リ通りニ渡サズシテ其分量ヲ減ラシ或ハ之ヲ剥ギ取ナドシ其外妄リニ打擲折檻スルナド苛刻ノ仕業アル者ヘハ三箇月以上三箇年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

右ノ如ク苛刻ノ仕業スルニ因テ其囚人ヲ死ナセ又ハ病氣ヅカセ傷サセタル時ハ第三百一條以下ノ殴打創傷ノ本條ニ引合セテ、夫ヨリハ仍ホ一段ヲ加ヘ此條彼條ノ孰レカ重キ方ニ處斷スルナリ例ヘハ囚人ヲ癩疾ニ至ラセタル時ハ第三百一條ノ刑ニ一段加ヘタルガ重キユエ之ニ從ヒ病氣休業二十日以内ニ至ラセタル時ハ此條ノ方

ガ重キユエ之ニ從テ罰スル類ナリ

第二百八十一條

水火震災ノ際官吏囚人ノ監禁ヲ解ク
 一ヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ一等ヲ加フ

洪水出火地震天災ノ節ハ獄舎ノ役人ハ速カニ囚人ヲ獄舎ヨリ出シ其死傷ヲ救ハチハナラヌモノナルコト懈怠ノタメニ其儀ナクシテ囚人ヲ死傷ニ致シタル者ハ殴打創傷ノ箇條々々ニ照シテ其刑一段ヲ加フルナリ

第二百八十二條

裁判官檢事及ヒ警察官吏被告人ニ對シ罪狀ヲ陳述セシムル爲メ暴行ヲ加ヘ又ハ凌虐ノ所爲アル者ハ四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告人ヲ死傷ニ致シタル時ハ殴打創傷ノ各本條

ニ照シ一等ヲ加ヘ重キニ從テ處斷ス

此條ハ裁判官、檢事、警察官吏ガ被告人ヘ罪ノ模様ヲ白狀
サスルニ持問ナドノ暴行ヲ加ヘ又ハ算盤責ヲナシ石ヲ
抱カスルナドノ陵虐ノ仕業アル者ヲ罰スル箇條ナリ

第二百八十三條

裁判官、檢察官故ナクシテ刑事ノ訴ヲ

受理セス又ハ遷延シテ審理セサル者ハ十五日以上三
月以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ
附加ス

其民事ノ訴ニ係ル者亦同シ

此條ハ裁判官、檢察官ガ民事ヨリ差出シタル刑事並ニ民
事ノ訴ヲ事故モナキニ取上ケズ之ヲ取上ケテモ速カコ
取捌セヌモノ、罪ヲ罰スル箇條ナリ

第二百八十四條

官吏人ノ囑託ヲ受ケ賄賂ヲ收受シ又

ハ之ヲ聽許シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ
處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ不正ノ處分ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ

凡ソ政府ノ役人タル身ニテ其役目ノ上ニ就キテ何事ヲ
カ人民ヨリ囑託ヲ受ケ、ソレガタメニ何品ニ限ラズ賄賂
ヲ取リ又ハ之ヲ受取ラソフヲ承知シタル者ハ其處分ニ
ハ偏頗ヘンパンナクモ元來受取ルマシキヲ受取リ承知スマシキ
ヲ承知シタル罪人ナレバ此レニハ本文ノ禁錮罰金ヲ申
付ルナリ

右ノ仕業ニ因テ愈ヨ役目ノ上ニ偏頗ノ處分ヲナシタル
時ハ元來受ケマシキヲ受ケタルガ上ニ又不正ノ行ヒシ
タルモノナレバ此レニハ前段ノ刑ニ一段ヲ加ヘ一箇月
七日以上一箇年三箇月以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以

下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第二百八十五條 裁判官民事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
因テ不正ノ裁判ヲ爲シタル時ハ一等ヲ加フ

コ、ノ民事裁判ハ下條ノ刑事裁判ニ對シタル者ナレハ
商事工事件并ニ行政ノ裁判ヲモ込テ云フ者ナルヘシ民事
ノ裁判ニ付テ賄賂ヲ取ルハ前條ノ一般ノ役人ガ賄賂ヲ
取リタルヨリハ重キユエ刑モ、ソレニ比ブレハ重キ者ナリ

第二百八十六條 裁判官檢事警察官吏刑事ノ裁判ニ關シテ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ聽許シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ被告人ヲ曲庇シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス
其被告人ヲ陷害シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス若シ枉斷シタル所ノ刑此刑ヨリ重キ時ハ第二百二十一條
第二百二十二條ノ例ニ照シテ反坐ス

裁判官又ハ檢事、警察官吏タル身ニテ人ヲ刑罰ニ行フテ
目途トスル刑事ノ裁判ニツキテ賄賂ヲ受取又ハ之ヲ承
知シタル者ハ民事ト同様二箇月以上二箇年以下ノ重禁
錮ニ行ヒ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ
右ノ賄賂ヲ受クルニ因テ不正ノ處斷ヲナシ被告人ヲ曲
庇ヒテ罪ヲ輕クシ又ハ枉ゲテ放免シタル者ハ前條民事
ノ裁判ニ偏頗アルモノヨリハ重キユエ此レニハ三箇月

以上三箇年以下ノ重禁錮十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

又ソレニ因テ被告人ヲ罪ニ陷イレ輕キ罪ヲ重キ罪トシ罪ナキヲ罪アリトシテ不正ノ處斷シタル者ハ前ノ被告人ヲ曲庇ヒタルヨリハ重キニ此レニハ二箇年以上五箇年以下ノ重禁錮二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ若シ法ヲ枉ケテ處斷シタル刑罰ガ此重禁錮ト罰金ヨリ重キハ前ノ第二百二十一條第二百二十二條ノ例ニ引合セテ被告人ノ言渡サレタル刑罰ダケニ行フナリ例ヘハ重禁錮ニ行フヘキヲ不正ノ處斷ニ因テ重懲役ニ行フナル後不正ノ事ガ露顯シタル時ハ第二百二十一條ニ依テ重懲役ニ行ヒ其仕置中ニ露顯シタル時ハ現ニ被告人ノ勤メアゲタル日數マテ縮ムルモ苦シカラズ若

シ被告人ヲ死ニ陷イレタル時ハ第二百二十二條ニ依テ死刑ニ行ヒ、マダ死刑ノ執行ナキ前ナレハ無期徒刑ニ行フ類チ云フ

第二百八十七條 裁判官檢事警察官吏賄賂ヲ收受聽許セスト雖モ情ニ徇ヒ又ハ怨ヲ挾ミ被告人ヲ曲庇陷害シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

裁判官、檢事、警察官吏タル身ニテ人民ヨリ賄賂ヲ取り又ハ取ルコトノ承知ハセストモ私情ニ牽カレテ被告人ヲ曲庇ヒ又ハ遺恨ヲ以テ被告人ヲ無實ノ罪ニ陷イル、ハ法ヲ枉ケ不正ノ處分ヲナスニ於テハ口ヨリ前條ト同様ナレハ此レモ前條ノ例ニ依リテ罰スルナリ

第二百八十八條 前數條ニ記載シタル賄賂已ニ收受シタル者ハ之ヲ沒收シ費用シタル者ハ其價ヲ追徴ス

前ノ數條ニ書載セアル賄賂ノ品物ハ、モト其役人ノ受取
ルマシキモノナシハ最早其手ニ移リタル時ハ之ヲ取上
ク若シ費シ用ヒタルニ因テ其實物ノアラスルハ受ケタ
ル賄賂ニ直ルマケノ金錢ヲ取上ルナリ故ニ未タ其手ニ
移ラズシテ仍ホ人民ノ手ニ在ル間ハ約束ノミニテ未タ
罪トナラズモノナレバ、コレヲ取上ルコトハナキ者ナリ

第三節 官吏財産ニ對スル罪 凡三條

此節ハ役人タル者ガ其役口ノ上ニテ預リ守ル所ノ
金錢穀物其外總テ金錢ニ換ヘ得ベキ品物ヲ盜取ル
罪ヲ定ムルナリ

第二百八十九條 官吏自ラ監守スル所ノ金錢物件ヲ竊
取シタル者ハ輕懲役ニ處ス
因テ官ノ文書簿冊ヲ増減變換シ又ハ毀棄シタル時ハ

第二百五條ノ例ニ照シテ處斷ス

自カラ監守スル所ノ金錢物件トハ役所ノ入用金、備金、庫
米、備附品、并ニ人民ヨリ納メタル税金又ハ遺失物ノ如キ
總テ役人ガ其役目ニ付キテ預リ守ル金錢、穀物、器械類ヲ
云フ竊取トハ必ズ我家ニ盜ミ歸リタルモノ、ミニ限ラ
ズ一時融通ノタメニ使用シタル者ヲモ包ムルナリ尋常
人民ノ竊盜罪ハ輕罪トシテ第三百六十六條ニ依リ二箇
月以上四箇年以下ノ重禁錮ニ行ハル、者ナレバ役人ガ
我が預リ物ヲ盜取ルハ甚ダ爲シ易キ仕業ニテ容易ク防
ギノ着キ難キ者ナルノミナラス政府人民ノ信用ニ背ク
コトノ大イナル犯罪ナレハ之ヲ重罪トシテ輕懲役ニ行フ
ナリ、サレバ同シ官金ニテモ我が預リニ非サル分ヲ盜ミ
タルハ尋常竊盜ノ罪ニ同ハレ此條ノ規則ニハ觸レヌ者

ナリ
若シ右ノ金穀物件ヲ盗ムニ因テ其惡事ヲ蔽ハンガタメ
ニ員數ヲ記ルシタル書付カ張面額ヲ私カニ増減變換シ
又ハ之ヲ毀リ棄テタル時ハ後日ノ計算ニ差支ヲ生シ又
其惡事モ顯ハシ難キニ此分ハ第二百五條ノ例ニ引合
セテ重懲役ニ行フナリ

第二百九十條 租稅其他諸般ノ入額ヲ徵收スル官吏正
數外ノ金穀ヲ徵收シタル者ハ二月以上四年以下ノ重
禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
租稅トハ國稅地方稅ヲ云其他諸般ノ入額トハ手數料、沒
収、罰金、科料、官有地貸下料、貸附金ノ返納ナド總テ人民ヨ
リ官ヘ納ムル収入ヲ云此租稅并ニ入額ヲ取立ル稅關官
吏郡區長其外此類ノ役人ニテ布告布達又ハ約束ニテ定

マリアル正當ノ員數ノ外ニ故意餘分ノ金錢穀物ヲ取上
ケタル者ハ假令ヒ其金錢穀物ヲ我が物ニ盜取ラヌモ官
ノ威光ヲ借リテ人民ニ難澁ヲ掛クル罪人ナレハ我物ニ
スルト、セサルトニ拘ハラヌ孰レモ本文ノ禁錮罰金ヲ申
付ルナリ

第二百九十一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑
ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス
此節ニ記載スル犯罪ハ至テ性ノ惡ロキ仕業ナレハ輕罪
ノ刑ニ行フ者ト云ヘ此再度ノ惡事ヲ豫防スルヲメ仕置
濟ノ後仍ホ本文監視ノ仕置ニ行フナリ

第三編 身體財產ニ對スル重罪輕罪 凡ニ二章
百三十三條
此編ハ人ノ支體、生命、自由、名譽、并ニ官府人民ノ別ナシ總
テ人ノ所有ニ係ル財物ニ對シテ故意又ハ過失ヲ以テ損

害ヲ加ル重罪輕罪ヲ掲クル部ニテ前編ノ公益ト云フニ對シテ之ヲ私益上ノ罪トナスナリ抑モ刑法ノ設ケアルハ世間一體ノ秩序安全ヲ保護セシメガ爲メニテ一人二人ノ私益ヲ圖ル爲メニアラテハ其治罪ノ上ニ於テモ世間ノ目代トモ云フベキ檢察官ノ公訴ニ因リ必シモ被害本人ノ告訴ヲ待タズサレバ如何ナル罪ト雖モ既ニ刑法上ノ罪トナレバ一トシテ公益ノ害ナラヌハナキモノナレドモ其罪ノ性質ニ因リテハ直ニ公益ヲ害スルト否トノ別アリ即チ前編ハ直ニ公益ノ正面ヲ害スル罪ヲ掲ケ此編ハ直ニ私益ノ正面ヲ害スル罪ヲ掲クルナリサレドモ公益ヲ害スル罪ハ之ヲ犯スニ難ク利ヲ圖ルニモ得易スカラヌヨリ世間ニハ常ニ公益上ノ犯罪ハ少ナク私益上ノ犯罪ハ多キ者ナリ故ニ刑法中最モ肝要ナルハ此編ニ在リ

第一章 身體ニ對スル罪

凡十三節 七十四條

凡ソ人身ニハ生命アリ心情アリ支體アリ自由アリ又名譽モアリテ孰レモ皆無クテ叶ハヌ持物ナレハ此世ニ生トシ生ケン人ハ互ニ之ヲ貴ヒ敬ヒ聊カタリハ相害フノ事アルベカラズ若シ其中一個ニテモ害ヒタラソハ即チ人ノ身體ヲ害フ者ナリ人ノ身體ノ害フベカラサルハ我身體ノ害フベカラサルニ同シ之ヲ害フハ罰ナカルヘカラズ是レ此章ノ設ケアル次第ナリ此章節目十三アリ謀殺故殺ノ罪、毆打創傷ノ罪、殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪、過失殺傷ノ罪、自殺ニ關スル罪、擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪、脅迫ノ罪、墮胎ノ罪、幼者及ヒ老疾者ヲ遺棄スル罪、幼者ヲ略取誘拐スル罪、猥褻姦淫重婚ノ罪、誣告及ヒ誹毀ノ罪、祖父母父母ニ對スル罪トス

第一節 謀殺故殺ノ罪 凡七條

謀殺トハ豫テ謀計アリテ殺スヲ謂フ故殺トハ一時ノ出來心ニテ殺スヲ謂フ

第二百九十二條 豫メ謀テ人ヲ殺シタル者ハ謀殺ノ罪ト爲シ死刑ニ處ス

此條ハ利慾遺恨又ハ嫉妬ナドノ爲メニ、カチテ人ヲ殺サ
ンコトヲ、ダクミ斯クセバヨカラシク彼ノ仕方ニテハ仕損シ
ナシトナド色々思案スル優裕アリテ頓ガテ愈ヨ心ヲ決シ
テ刃物ナリ鐵砲ナリ繩リ首ナリ水ニ溺ラヌナリ火ニ推シ
入ル、ナリ高處ヨリ蹴下スナリ其外色々ノ術計ヲ以テ
其人ヲ殺シタルハ之ヲ謀殺ノ罪トナシ孰レモ死刑ニ行
フトナリ

第二百九十三條 毒物ヲ施用シテ人ヲ殺シタル者ハ謀

殺ヲ以テ論シ死刑ニ處ス

毒物トハ毒藥其外人ヲ殺スニ足ル程ノ毒味アル物ヲ云
ハナシ殺サシ存意アリテ斯様ノ毒味アル物ヲハ飲物食物
ニ混セテ我が殺サントスル人ニ喫ハセ又ハ烟草ニ混セ
テ其人ニ吸ハセナドシテ頓ガテ之ヲ殺シタルハ、カチテ
久シク、ダクミ居タルト一時ノ出來心ナルトチ分ク皆
謀殺ト云ナリ以テ其罪ヲ論定シ之ヲ死刑ニ行フナリ斯ク
スル譯ハ凡ソ人ヲ殺サシホドノ毒味アル物ハ平常誰ニ
テモ所持スル筈ナク、コレニテ人ヲ殺サシトコトハカチテ
其用意ナクテハ叶フマシク彼ノ一時ノ腹立ちニ堪難側
ニ有合フ刃物ヲ持テ相手ノ人ヲ殺スヤウナル手筈ニハ
行クマシクレバ假令ヒ一時ノ出來心ニテ深キ、ダクミハ
ナシトスルモ其毒物ヲ用意セシコトハ多少時間モ費ヤス

ベク又思案ヲモ用フベケレバ人ヲ殺スニ毒害ノミハ眞實出來心ト云テ得ヘキ者アラチハナリ、サハ云ヘ人間萬事唯坐上ノ空論ノミニテハ定ムベカラズ實地ニ就カバ或ハ毒害ノ故殺ヨリハ猶ホ淺薄ナル仕業モアルベシ、斯ル時ハ如何スベキヤ本文ハ既ニ動カシ難クレバ唯滅輕ノ道アラソノミ

第二百九十四條 故意ヲ以テ人ヲ殺シタル者ハ故殺ノ罪ト爲シ無期徒刑ニ處ス

故意トハ故ラニ殺サント思ヒ込ミタル意ヲ云フ喧嘩口論又ハ甚シキ無禮雜言ナド受クルトアルニ當リテ如何ニモ腹立ナニ堪兼氣モ心モ常並ナラヌヨリ斯クシテハ惡カルベシ國ノ法律恐ルベシナド心ニ問ヒ計ル暇ナクシテ不圖殺スベク思ヒ込ミ深キタクミモ無クシテ間モ

ナク其人ヲ殺シタラソハ全ク臨時ノ出來心ニ因ルモノナレハ同ク殺ス意ハアリトスルモ前ノ謀殺ニ比ブレハ少シク憫レムベキ所アリ又其タクミトテモ深カラチハ之ヲ避クルニモ避ケ易ク殺ス術計モ拙ケレハ之ヲ防クニモ防キ易ク到底謀殺ヨリハ罪輕キユエ其生命ダケハ存ヘ置生涯徒刑ニ行フナリ

第二百九十五條 支解折割其他慘刻ノ所爲ヲ以テ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

支解トハ手足ヲ離レ々々ニ解キハナツチ云フ折割トハ支體ヲ割キテ生體ヲ取ル類ヲ云フ其他慘刻ノ所爲トハ石壓火炙ナドヲ云フ假令ヒ一時ノ出來心ト云ヘ右様殘忍ノ仕業ヲ以テ人ヲ若シメツ、殺シタルモノハ前條ノ唯其人ノ生命ヲ絶ツ迄ニテ腹慰シタル故殺ト同様ニ

ハ罰スヘカラズ故ニ前々條ノ謀殺人ノ鈎合ヲ取り之ヲ死刑ニ行フナリ

第二百九十六條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メトハ例ヘハ強盜ニ押入ル時邪魔トナル門番ヲ除キ竊盜ヲ働ク時ソレヲ見咎メ邪魔シタル品主ヲ除ク類ヲ云フ其罪ヲ免カル、爲メトハ已デニ其罪ヲ仕遂ケテ逃出ントスルニ當リテ品主ニ騒ギ立ラレ又ハ巡查ニ追ハレナドシテ其場ニテ捕ヘラレ或ハ後日ノ手掛リトモナサレノチ恐レテスル仕業ヲ云フ右ノ如ク別ニ罪ヲ犯スヤアルニ因テ其身ヲ厭ヒ又ハ惡事ヲ遂ケンガ爲ニ殘忍ニモ其人ヲ殺シタルハ前

ノ喧嘩口論ノ末復立ニ堪兼其相手ヲ殺シタル類トハ同シカラズ故ニ謀殺ノ鈎合ヲ取り之ヲ死刑ニ行フナリ

第二百九十七條 人ヲ殺スノ意ニ出テ詐稱誘導シテ危害ニ陷レ死ニ致シタル者ハ故殺ヲ以テ論シ其豫メ謀ル者ハ謀殺ヲ以テ論ス

詐稱誘導シテ危害ニ陷ルトハ虛言詐偽ヲ言ヒ聞ケテ其人ヲオビキ出シ生命ニカ、ル危ウキ場所ヘ、ハメコムヲ云フ例ヘハ川水深クシテ人ノ渡ルベキヤウモアラヌニ淺瀬ナリト言ヒ聞ケ船底橋板ナドノ朽ハテタルニ因リテ人ノ乘リ渡ルベキモノナラヌニ堅固ナリト言聞ケ又ハ坑穴ナドニ進レ入りテ危ウキ場所ニオビキ込ム類ナリ右ノ如ク虛言詐偽ニテ危キ所ニオビキ込ミ其人ヲシテ計ラズ死亡ニ至ラセタルハ、モト自親ニ手ヲ着ケタル

ニハアラヌニセヨ之ヲ殺ス一段ニ至リテハ矢張刃物ナ
 フニテ斬リ殺シタルモ同様ナレハ實正殺ス氣ニ出タル
 モノカ左ナキモノカチ吟味シ果シテ其氣ニ出タルモノ
 ナルハ故殺ノ罪トシテ生涯ノ徒刑ニ行ヒ豫テ、タリミ
 テ殺シタル者ナルハ謀殺ノ罪トシテ死刑ニ行フナリ

**第二百九十八條 謀殺故殺ヲ行ヒ誤テ他人ヲ殺シタル
 者ハ仍ホ謀殺ヲ以テ論ス**

此條ハ、カチテタリミ有リテ人ヲ殺シ又ハ臨時ノ出來心
 ニテ人ヲ殺スニ誤テ外ノ人ヲ殺シタルモノ例ハ、暗夜
 ニ、カチテ目指ス人ニ切付ケタランニ、誤テ違レノ人ヲ殺
 シ或ハ喧嘩ノ末一時腹立ニ堪銀鉄砲ニテ其人ヲ狙撃シ
 タランニ九シレテ外ノ人ニ中リ計ラズ其人ヲ殺シタル
 類ハ最初目指シタル相手ニ就テハ未遂犯罪トナリ現ニ

殺シタル人ニ就テハ全ク過失ノ犯罪ナレトモ、ト人ヲ殺
 スノ存意アリテノ間違ナレバ假令ヒ死シタル人ハ己ガ
 目指ス人ニハアラヌニセヨ仍ホ謀殺故殺ノ罪トシテ死
 刑又ハ無期徒刑ニ行フ旨ヲ定ムルナリ

第二節 毆打創傷ノ罪凡十條

毆打創傷トハ人ヲ打タ、キテ疵ヲ負ハスヲ云人ヲ
 殺スホドノ存意ハナク唯打タ、クノミノ目途ニ因
 テ人ニ疵ヲ負ハセ又ハ死ナセタル罪ナ此節ニ掲ク
 ルナリ唯打タ、キタルノミニテ疵ヲ負ハス迄ニ至
 ラヌモノハ違警罪ノ第四百二十五條ニ依テ罰スル
 者ナリ

**第二百九十九條 人ヲ毆打創傷シ因テ死ニ致シタル者
 ハ重懲役ニ處ス**

人ヲ殺サントスル存意ハナク唯一時ノ腹立ナドヨリ人
ヲ打タ、キテ疵ヲ負ハセ其疵ユエニ病氣ヲ起シ又ハ打
タル場所ガ急所ナリシガ爲メニ計ラズ其人ヲ死ナセ
タルモノハ人ヲ殺シタルコトハ違ヒナケレド殺スハ其者
ノ本意ニアラズ本意ナラバ過失ナレバ前ノ謀殺故殺
ノ如ク心アリテ殺シタルモノトハ同シカラズ、サレド此
過失ハ眞ノ過失ニ非スシテ人ヲ打タバ疵所ニ因テハ之
ヲ死ナスコトモアルヘキ事ハ苟モ本心アラシ者ハ百モ承
知ノ筈ナレハ謀殺故殺ヨリハ其罪ヲ輕クシ過失ノ殺死
ヨリハ之ヲ重クシ本文重懲役ニ行フナリ

第三百條 人ヲ毆打創傷シ其兩目ヲ瞎シ兩耳ヲ聾シ又
ハ兩肢ヲ折リ及ヒ舌ヲ斷テ陰陽ヲ毀敗シ若クハ知覺
精神ヲ喪失セシメ篤疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其一 目ヲ瞎シ一耳ヲ聾シ又ハ一肢ヲ折リ其他身體ヲ
殘廢シ癡疾ニ致シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁
錮ニ處ス

人ヲ毆打シテ疵ヲ負ハセ、ソノタメ兩方ノ眼ヲ瞎シテ視
ユエ迄ニ至ラセ兩方ノ耳ヲ聾ニシテ聽コエヌ迄ニ至ラ
セ又ハ兩手カ兩足ヲ折リテ使カヘヌ迄ニ至ラセ並ニ舌
ヲ斷テ切リ陰具陽具ヲ毀敗テ用ヒラレヌ迄ニ至ラセ或
ハ身體ノ機巧ヲ狂ハセ知覺精神ヲ失ハセテ癡呆カ瘋癲
ニ至ラセナドシ篤疾ニ罹ラセタル者ハ孰レモ重罪ト
シテ輕懲役ニ行フナリ
右ノ如クニハ甚シカラスシテ一方ノ眼ヲ瞎シ一方ノ耳
ヲ聾ニシ又ハ一方ノ手カ足ヲ折リ其外指ヲ折リ耳ヲ切
リ齒ヲ折ルナド總テ身體ヲ殘廢シ癡疾ニ至ラセタル者

ハ前ノ篤疾ニ至ラセタル者ヨリハ輕キユニ此レハ輕罪トシテ重禁錮ニ行フナリ

第三百一條 人ヲ毆打創傷シ二十日以上ノ時間疾病ニ罹リ又ハ職業ヲ營ムコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

人ヲ毆打セテ疵ヲ負ハセ、ソレガタメニ二十日以上ノ時間病氣ニ罹ラセ又ハ二十日以上ノ時間稼業ヲナスコト出来ヌ迄ニ至ラセタル者ハ一箇年以上三箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ斯ク二十日ヲ限界トシタル譯ハ廿日ヲハ大概病氣ノ様子が見ユルニ基キタルモノナリトゾ其疾病休業ノ時間二十日ニ至ラサル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス
疵ヲ受ケタル者ガ疵ノタメニ病氣ヅキ又ハ職業ヲ休ム

二十日以下ナル時ハ疵ヲ負ハセタル者ヲ一箇月以上一箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ

疾病休業ニ至ラスト雖モ身體ニ創傷ヲ成シタル者ハ十一日以上一月以下ノ重禁錮ニ處ス

病氣ヅキ職業ヲ休ム迄ニハ至ラストモ毆打ノタメニ其ハノ身體ニ創傷ヲ付ケタル者ハ十一日以上一箇月以下ノ重禁錮ニ行フナリ

第三百二條 豫メ謀テ人ヲ毆打創傷シ休業癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ前數條ニ記載シタル刑ニ照シ各一等ヲ加フ

前ノ第二百九十九條ヨリ第三百一條迄ノ毆打創傷ハ喧嘩口論ナドノ節一時ノ腹立ヲ紛レヨテ犯シタル罪ナレハ此條ハ、カチテ其人ヲ毆打セントノタクミアリテ犯シ

タル罪ヲ掲グルナリ、カチテタリミアリテ人ヲ毆打キ疵
 ナ負ハセ、ソレガタメニ職業ヲ休ミ癡疾篤疾又ハ死亡ニ
 至ラセタル者ハ一時ノ腹立ナ紛レノ犯罪ヨリハ重キユ
 ニ此レハ前數條ニ書載セアル刑ニ引合セ孰レモ一段加
 ヘテ罰スルナリ即チ第二百九十九條ノ犯罪ニハ有期徒
 刑ヲ申付ケ第三百條ノ前段ノ犯罪ニハ重懲役ヲ申付ケ
 其後段ノ犯罪ニハ二箇年六箇月以上六箇年三箇月以下
 ノ重禁錮ヲ申付ケ第三百一條ノ二十日以上ノ病氣又ハ
 休業ニ至ラセタル犯罪ニハ一箇年三箇月以上三箇年九
 箇月以下ノ重禁錮ヲ申付ケ二十日以下ノ犯罪ニハ一箇
 月七日以上一箇年三箇月以下ノ重禁錮ヲ申付ケ唯創傷
 ナ成シタル犯罪ニハ十三日以上一箇月七日以下ノ重禁
 錮ヲ申付ルナリ

第三百三條 重罪輕罪ヲ犯スニ便利ナル爲メ又ハ已ニ
 犯シテ其罪ヲ免カル、爲メ人ヲ毆打創傷シタル者ハ
 亦前條ノ例ニ同シ

重罪カ輕罪ヲ犯スニ便利ナルタメ又ハ早ヤ重罪輕罪ヲ
 犯シテ其罪ヲ免カレシメタメニ、ソレニ邪魔スル人ヲ毆打
 打キ因テ疵ヲ負ハセタル者ハ前ノ第二百九十六條ノ故
 殺ト事情ヲ同ウスル犯罪ニテ常並ノ毆打創傷ヨリハ重
 キユニ前條ノ豫メ謀リテ犯シタル罰例ト同シ前數條
 ニ書載セアル刑ニ引合セ孰レモ一段加ヘテ罰スルナリ

第三百四條 毆打ニ因リ誤テ他人ヲ創傷シタル者ハ仍
 ホ毆打創傷ノ本刑ヲ科ス

人ヲ毆打スルニ因リ誤テ最初目指シタル其人ヨリハ外
 ノ人ヲ毆打シ之ニ疵負セタル者ハ前ノ第二百九十八條

ノ故殺ト事情ヲ同ウスル犯罪ニテ、モト人ヲ毆打スル存
意アリテ仕出カシタル間違ナレハ矢張毆打創傷ノ本刑
ヲ申付ルナリ

第三百五條

二人以上共ニ人ヲ毆打創傷シタル者ハ現
ニ手ヲ下シ傷ヲ成スノ輕重ニ從テ各自ニ其刑ヲ科ス
若シ共毆シテ傷ヲ成スノ輕重ヲ知ルコト能ハサル時ハ
其重傷ノ刑ニ照シ一等ヲ減ス但教唆者ハ減等ノ限ニ
在ラス

前條々ノ如ク一人ニテ人ヲ毆打タルデハナク二人ヨリ
多キ者ガ寄集リ共々人ヲ毆打創傷シタル時ハ總則ニ定
メアル正犯ノ例ニハ依ラスシテ現在手ヲ着ケテ疵ヲ負
ハセタル輕重ニ從ヒ輕キ疵ヲ負ハセタル者ハ輕キ刑
ヲ申付ケ重キ疵ヲ負ハセタル者ハ重キ刑ヲ申付ケ銘

々別々ニ罰スルナリ例ハ甲乙二人ニテ一人ノ者ヲ毆
ツニ甲ハ其人ノ兩目ヲ瞎シ乙ハ其一耳ヲ聾スレハ甲ハ
輕懲役ニ行ヒ乙ハ二箇年以上五箇年以下ノ重禁錮ニ行
フ類ナリ

若シ共毆シテ人ニ疵ヲ負ハセタルニ其誰レノ分ガ重キ
カ輕キカヲ知り分ルコト出來ヌ時ハ前ノ如ク疵ノ輕重
ニ因テ別々ニ罰スルコト出來ヌニ數箇所ノ疵ノ中ニテ
最モ重キ疵ノ刑ニ一段ヲ加ヘ二人ナレバ二人、三人ナレ
バ三人孰レモ同刑ニ行フナリ例ハ二人ニテ同時ニ人
ノ面部ヲ毆チテ其一目ヲ瞎シタルニ馮雜中ナレバ何方
ノ仕業トモ知レヌ時ハ第三百條後段ノ二箇年以上五箇
年以下ノ重禁錮ニ一段ヲ減シテ一箇年六箇月以上三箇
年九箇月以下ノ重禁錮トナシ之ヲ均ク兩人ニ申付ル類

ナリ但シ其犯罪ヲ勸メタル教唆者ハ惡事ヲ起シタル張本人ナレバ一段減ズル限ニ在ラズ矢張極マリ通りノ刑ヲ申付ルナリ

第三百六條

二人以上共ニ人ヲ毆打スルニ當リ自ラ人

ヲ傷セスト雖モ幫助シテ傷ヲ成サシメタル者ハ現ニ傷ヲ成シタル者ノ刑ニ一等ヲ減ス

二人以上ノ若ガ共々人ヲ毆ツコ當ツテ其中一人ノ者ハ自親ニ手ヲ着ケテ人ニ疵負ハスコハセヌモ連レノ一人ハ石瓦ヤ棒ナド取リ遣ハシ又ハ相手ノ手足ヲ押ヘナドシテ連レノ者ヲ幫助ケ相手ニ疵ヲ負ハセタル者ハ現ニ疵ツケタル者ノ刑ヨリ一段減シテ罰スルナリ

第三百七條

健康ヲ害ス可キ物品ヲ施用シテ人ヲ疾苦

セシメタル者ハ豫メ謀テ毆打創傷スルノ例ニ照シテ

處斷ス

健康ヲ害ス可キ物品トハ人ヲ死ナスホドノ毒物ニテハナク唯人ヲ苦シマセテ其身ノ健康ヲ害スルニ足ルホドノ品ヲ云斯様ノ品ヲ人ニ飲マセ又ハ食ハセ或ハ身體ニ灑ギカケナドシテ疾ミ苦シマセタル者ハ毒害ノ人殺ニ於ケルガ如ク孰レカ其用意ナシテハ即時ニ出來ル仕業ニアラテハ、カチテ謀計アリテ人ヲ毆打創傷シタル例ニ引合セ常並ノ犯罪ヨリハ一段重ク罰スルナリ

第三百八條

人ヲ殺スノ意ニ非スト雖モ詐稱誘導シテ

危害ニ陷レ因テ疾病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ヲ以テ論ス

此條ノ意ハ人ヲ殺スノ存意ニテハナクモ人ニ虛偽ヲ言聞ケ又ハ誘導シテ危ウキ所ニ墮シ因テ其人ヲ病氣ヅカ

セ又ハ死亡ニ至ラセタル者ハ毆打創傷ノ罪トシテ罰ス
ルトナリ其外ハ前ノ第二百九十七條ノ註解ヲ見合ハス
ヘシ

第三節 殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪 凡八條

人ヲ殺シ人ヲ傷ツケルニモ亦夫々ノ事情様子等ア
リテ一概同罰ニ當テ難キ場合モアレハ事情様子ハ
如何ニ因テ其罪ヲ宥メ又ハ全ク其罪ヲ構ハヌ規則
ナ此節ニ定ムルナリ総則第七十五條以下ハ一般ハ
犯罪ニ係リ此節ハ唯殺傷メケニ係ル者ニテ孰レモ
法律ノ活用ヲ成ス要則ナリ

第三百九條 自己ノ身體ニ暴行ヲ受ルニ因リ直チニ怒
ヲ發シ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但不正
ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

他人ヨリ己ガ身體ニ打擲其外力ツクノ亂暴ヲ受ケルニ
因リ即時直ニ怒ヲ發シテ其暴行人ヲ殺シ又ハ疵ヲ負ハ
セタル者ハ相手ノ不持ヲ怒リテ之ニ仕返ヘシタル惡
事ナレハ己ガ方ヨリ惡事ヲ仕掛ケタルヨリハ輕キニ
其罪ヲ宥メテ二段カ三段輕ク罰スルナリ併シ己ガ方ニ
何カ其人ヲ怒ラスホドノ不都合アリテ其亂暴ヲ招キタ
ル者ナルトハ相手ノ亂暴モ無理ナラヌニ殺傷者ハ其
罪ヲ宥メズ矢張相當ノ刑ニ行フナリ本文直チニ〇ノ三字
ハ能々注意スベキ所ニテ其時直クノ殺傷ナラデハ假令
ヒ其身ニ不正ハナクモ宥恕ヲ受ケル限ニハアラヌナリ
其譯ハ全體此條ノ宥恕ハ人ノ亂暴ニ因リテ腹立ニ堪兼
事ノ善惡ヲ思案スル間モナクシテ即時ニ仕返ヘシチ爲
シタルハ人情有勝ノ仕業ナレハ並ノ犯罪ト一樣ニ罰ス

殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

ルハ少ク不憫ナリトシテ斯ク宥恕ヲ與フル者ナレハ其
腹立ノ熱モサメテ篤ト思案スル優裕アルトハ法ヲ破リ
人ヲ害スル純粹ノ犯罪トナル者ユエ之ヲ宥恕スルハ此
條ノ起ル本意ニアラテハナリ

第三百十條 毆打シテ互ニ創傷シ其手ヲ下スノ先後ヲ
知ルコト能ハサル者ハ各其罪ヲ宥恕スルコトヲ得

二人ニテ打テ合テ爲シ雙方トモニ何程カノ疵所アラソ
ニ、サテ吟味ノ節ニ至リ雙方共ニ彼レノ方ヨリ打テ掛リ
タリト言張リ別ニ證據人モナクソ何方ガ先ニ打掛リタ
ルカノ區別タ、又ハ雙方トモニ先ニ手ヲ下メシタル
刑ニ行フハ不憫ユエ此時ニハ掛判事ノ見込ニ因テ雙方
トモニ二段カ三段減輕シテモ若シカラスナリ、サレバ其
先後ノ知レタル時ハ前條ノ例ニ依テ處斷シ若又雙方同

時ニ打テタル時ハ何レモ相當ノ罰ニ行ハル、ハ當然ノ
事ナリ

第三百十一條 本夫其妻ノ姦通ヲ覺知シ姦所ニ於テ直
テニ姦夫又ハ姦婦ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス但
本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者ハ此限ニ在ラス

本夫ガ其妻ノ外ノ男ト密通スルコトヲ覺知リ密通ノ現
場ニ於テ直シニ其男カ又ハ己ガ妻ヲ殺傷スルハ是亦人
情己ムヲ得又次第ナレハ其罪ヲ宥メテ二段又ハ三段輕
ク罰スルナリ併シ其夫ガ其前兩人ノ密通ヲ縱容シテ見
テモ見ヌ振テナシ又利慾ノタメニ金ヲ取リテ其男ノ密
通ヲ相談ノ上ニテサセタル類ハ之ヲ見テモ怒ルベキ筈
ナケレハ固ヨリ宥恕ノ限リニハアラスナリ此條注意ノ
所ハ姦所ニ於テ直テニ八字ニ在リ其餘ハ前々條ト同

趣意ナレバ見合ハスベシ

第三百十二條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞セントスル者ヲ防止スル爲メ之ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ宥恕ス

晝間ト云ヘハ故ナク人ノ住居シタル家屋敷ニ入ルハ前ノ第七十一條ニテ禁止スル者ナレバ之ヲ犯シテ故ナク立入り或ハ門戸牆壁ヲ乘リ越エ打破リテ内ニ入ラントスル者ハ孰レ惡シキ心底アリテナスモノナレバ之ヲ防キ止メテメニ其暴行人ヲ殺傷シタルハ罪ヲ宥メテ二段又ハ三段輕シ罰スルナリ此條注意ノ所ハ防○止○ス○ル○爲○メ○ノ○六○字○ニ在リ故ニ若シ其者ガ逃ケ去ルヲ後ヨリ追ヒ行キテ殺スガ如キハ固ヨリ此條宥恕ノ限リニハアラヌナリ

第三百十三條 前數條ニ記載シタル宥恕ス可キ罪ハ各本刑ニ照シ二等又ハ三等ヲ減ス

前ノ第三百九條以下ニ書載セアル宥恕ヲ與フヘキ犯罪ハ總則ニ在ル宥恕減輕ノ二段マテ引下ル仕方ト違ヒ夫々相當ノ刑ヨリハ其事情ニ因テ二段又ハ三段ヲ減スルナリ即チ故殺ノ罪ナレハ無期徒刑ヨリ減シテ重懲役カ輕懲役ニ行ヒ篤疾ナレハ輕懲役ヨリ減シテ一箇年六箇月以上三箇年九箇月以下ノ重禁錮カ一箇年以上二箇年六箇月以下ノ重禁錮ニ行フ類ナリ

第三百十四條 身體生命ヲ正當ニ防衛シ已ムトナ得サルニ出テ暴行人ヲ殺傷シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス其罪ヲ論セス但不正ノ所爲ニ因リ自ラ暴行ヲ招キタル者ハ此限ニ在ラス

殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

人ノ爲スマシキ仕業ヲ以テ我が身體ヤ生命ニ向ツテ害
 惡ヲ加フルモノニル時ハ力ヲ極メテ之ヲ防ギ我が身體
 生命ヲ護衛スルハ、モト人類タルモノガ天然稟ケ得タル
 權利ナレバ此處分ハ他人ノ非難スベカラサル正當ノ事
 トスルナリ、サレバ我身ニ其暴行ヲ招クホドノ仕業ナキ
 ニ他人ヨリ身體生命ニ害惡ヲ加フル時之ヲ防キテ我身
 ナ衛ラントスルニ當リ其暴行人ヲ殺シ又ハ疵ツクルニ
 非サレバ逆モ其難ヲ遠ル、コノ出來ヌニヨリ據トコロ
 ナク其暴行人ヲ殺傷シタルハ唯惡事ヲ防グガ爲メニテ
 聊カ惡心アリテシタルニアラズハ自身ヲ衛ルト他人ヲ
 衛リ違ハストノ差別ナク孰レモ其罪ヲ構ハヌナリ併シ
 其身ニ不正ノ仕業アリテ自身ニ其暴行ヲ招キ來タシタ
 ル者ナル時ハ其罪ヲ構ハヌト云フ限リニハアラヌナリ

此條注意ノ所ハ身體ト云フヨリ已ムヲ得サルニ出ト云
 フ迄ガ肝要ナリ故ニ其暴行カ直接ニ其身體生命ニ害ナ
 キ時、又自身ニ惡事アリテ之ヲ防クハ正當ナラヌ時、人ヲ
 殺傷スルハ實ニ已ムヲ得ヌ場合ナラヌ時等ニ此殺傷ノ
 犯罪ヲ爲シタルハ無論此條ノ不諭罪ノ限リニハアラヌ
 者ナリ

第三百十五條 左ノ諸件ニ於テ已ムヲ得サルニ出テ人

ヲ殺傷シタル者ハ其罪ヲ論セス

一 財産ニ對シ放火其他暴行ヲ爲ス者ヲ防止スルニ出
 タル時

財産トハ金錢衣類器物ナドノ動産、土地家屋ナドノ不動
 産ヲ併セ云フナリ其他ノ暴行トハ家屋ヲ打毀ハシ器物
 衣類ヲ破リ棄ルナドノ甚シキ亂暴ヲ云フ

殺傷ニ關スル宿怨及ヒ不諭罪

二盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還スルニ出タル時

盜犯トハ強盜竊盜ノ差別ナク總テ盜賊ノ惡事ヲ云フ盜賊トハ盜マレ品ヲ云フ

三夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅ニ入り若クハ門戸牆壁ヲ踰越損壞スル者ヲ防止スルニ出タル時

夜間ハ人々睡ニ就キ互ニ往來セヌ時刻ナルニ故ナク人ノ住居ニ入ルハ甚ダ怪シムヘキ仕業ナレハ之ヲ防キ止マントスルハ誠ニ當然ノ處分ナリ且夜間ハ晝間ノ如クニ人ノ助力ヲ乞フモ得易カラズシテ惡事ヲ爲スニモ成シ易キ時分ナレハ之ヲ防カントシテ已ムヲ得ズ其人ヲ殺傷シタルハ晝間ノ殺傷トハ同シカラズ故ニ晝間ノ殺傷ハ二段カ三段ノ減輕ニ止マ夜間ノ殺傷ハ全ク其罪ヲ構ハヌナリ

備此條ハ前ノ身體生命ヲ防衛スルヲ違ヒ專ラ財產ヲ防衛スルヲメナルヲ身體生命ヲ防衛スルト同ク全ク其罪ヲ構ハヌト定メタルハ少ク鈎合惡シキヤウナレト人ノ財產ヲ大切ニスルハ殆ント生命ニモ次ク有様ニテ甚シキハ生命ヲモ顧ミスシテ之ヲ衛ラントスルガ人情ナレハ斯ク前條ト同例ニ處斷シ已ムヲ得ヌト殺傷ハ全ク其罪ヲ構ハヌト定メタルナリ

第三百十六條 身體財產ヲ防衛スルニ出ルト雖モ已ム

トヲ得サルニ非スシテ害ヲ暴行人ニ加ヘ又ハ危害已ニ去リタル後ニ於テ勢ニ乘シ仍ホ害ヲ暴行人ニ加ヘタル者ハ不論罪ノ限ニ在ラス但情狀ニ因リ第三百十三條ノ例ニ照シ其罪ヲ宥恕スルトヲ得
身體財產ヲ正當ニ防キ衛ル爲メト云ヘル方々已ムトヲ

殺傷ニ關スル宥恕及ヒ不論罪

得スシテ別段防ギノ術ナキホドニ非スシテ妄リニ暴行人へ害ヲ加ヘ又ハ暴行人ハ最早取押ヘテ身動キモ出来ズ或ハ盜賊ガ其盜品ヲ捨テ、逃ケ出シタルナド危害ノ已テニ濟ミ去リタル後ニ於テハ最早防ギヲ要セヌ時分ナルニ仍ホ其勢ニ進レテ暴行人ニ害ヲ加ヘ之ヲ殺傷シタル者ハ全ク遺恨晴ラシノ仕業ニ出テ防キノタメニシタル者コアラテ前兩條ノ如クニ全ク其罪ヲ構ハスト云フ限ニアラズ併シ之ニ本刑ヲ當ルハ少ク不憫ノ所モアレバ其事情模様ニ因テハ掛判事ノ見込ヲ以テ第三百十三條ノ例ニ引合セ其罪ヲ宥恕シテ三段又ハ三段減スルモ苦シカラスナリ

第四節 過失殺傷ノ罪 凡三條

過失殺傷トハ罪ヲ犯スノ存意ナクシテ全ク一時ノ

疎忽ニ因リ計ラズモ人ヲ殺シ又ハ疵負ハセタル仕業ヲ云フ、サレバ總則第七十七條ニ云ヘル罪ヲ犯ス意ナキノ所爲ト同性質ノ者ナレバ其中ニハ罰セヌガ善キト罰スルガ善キトノ區別アリテ一概ニ皆罰セヌト定ルルハ世間ニ人命ヲ輕シスル者多ク、カテテ注意ヲナサヌヨリ計ラズ害ヲ蒙ル者モ多ク世間ノタメニ善カラヌ事ニ全ク注意ノ行届クマシキ分ノミハ其罪ヲ構ハヌ事トシテ總則ニ掲ケ注意ノ出來ル事ニ注意セズ守ルヘキ規則慣習ヲ守ラヌコトテ計ラズ罪ヲ犯ス分ハ此節ニ掲ケ世間ノ疎忽人ヲ警メテ不幸ノ死傷人ナキヤウニスル者ナリ

第三百十七條 疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セス過失ニ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ二十圓以上二百圓以下

ノ罰金ニ處ス

疎虞トハ不注意ヲ云フ假令ハ人ノ往來アル場所ニ向テ石ヲ投ケ或ハ鉄砲ヲ撃ツ類ナリ懈怠トハ怠慢ヲ云フ例ヘハ墮ナル橋ニ夜分圍カ見印ヲ付ケズ燈明臺ニ火ヲ點ケ忘レタル類ナリ規則トハ布告布達類ニテ斯クセヨトノ言付又ハ左ハスナトノ禁止ヲ云フ之レヲ遵守セストハ例ヘハ人家近キ場所ニテハ銃獵スルコトノナラヌ規則ニ背キテ銃獵スル類ナリ慣習トハ世間一體又ハ其土地ノ舊慣ヲ云フ之ヲ遵守セストハ例ヘハ馬ニ騎リテ入ニ逢ハト聲ヲカケテ避ケサスベキ夫其儀ナクシテ馬ヲ驅リ又ハ舟ノ行進フトキハ互ニ左ニ避クヘキニ却テ右ニ寄セタル類ナリ斯様ノ不都合ニ因テ心ナク人ヲ死ナスハ全ク疎忽ノ仕事トハ云ヘル最初用心ノ善カラヌ

第三百十八條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ癱篤疾ニ致シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

ヨリ出タル仕業ナレバ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ斯クノ如ク唯罰金ノミト定メタル譯ハ心ナキ過ナクニエニ之ヲ實決スルハ不憫ナルガ故ナリ
第三百十九條 過失ニ因テ人ヲ創傷シ疾病休業ニ至ラシメタル者ハ二圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス
此條ノ意ハ疎虞懈怠又ハ規則慣習ヲ遵守セヌ過失ニ因

テ他人ニ疵ヲ負ハセ、ソレガ爲メニ病氣ヅキテ職業ヲ休ムニ至ラセタル者ハ其休業ノ長短ニ拘ハラズ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ申付ルトナリ故ニ唯疵負ハセタルノミニテ職業ニ差支ナキ者ハ此條ニテ罰セラルヘキ者ニアラズ

第五節 自殺ニ關スル罪 凡二條

自殺トハ自親ニ其身ヲ殺スヲ云之ニ關スル罪トハ人ニ勸メテ自殺ヲサセ又ハ自殺ノ手傳シタル罪ヲ云フ自親ニ其身ヲ殺スハ天理ニ背キタル仕業ナレ其害ハ其身ノ上ニ止マリ外ニハ及ハヌ者トシテ之ヲ罰セズ唯手傳人ト教唆人トヲ罰スルナリ

第三百二十條 人ヲ教唆シテ自殺セシメ又ハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ爲メニ手ヲ下シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附

加ス其他自殺ノ補助ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

人ヲ教唆シテ自殺ヲサスル例ハ其親戚ニ不義惡事ノ者アルト生カシ置テハ家名ニ障ハルトカ世間ノ義理ガ濟マストカ義理責コテ詰腹ヲ切ラセ又ハ囑託ヲ受ケテ自殺人ノ爲メニ手ヲ下ラス例ハ自殺ト覺悟セシ者ニカシテ介紹ヲ頼マレ又ハ死損コトタル者ヨリ頼ヲ受ケテ自殺ヲ果サセタル者ハ六箇月以上三箇年以下ノ輕禁錮ニ行ヒ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ申付其外自殺ノ補助ヲ爲ス例ハ刃物毒藥ナドヲ與ヘ遣ハシ自殺ヲ便利ナラシメタル者ハ右ノ罰ヨリ一段ヲ減シテ四箇月十五日以上二箇年三箇月以下ノ輕禁錮七圓五十錢以上卅七圓五十錢以下ノ罰金ヲ申付ルナリ斯クスル譯ハ已ニ前ニモ説キタル如ク自殺ハ天理ニ戻リ人情ニ外レタル仕業

ナレハ假令ヒ本人ハ是非モナキ事トスルモ他人ハ之ヲ止ムルガ當然ナルニ却テ其決心ヲ促シ其横死ヲ送ケサスルハ人命ヲ輕シ世間ノ風俗ヲ妨害スル者ナレハ之ヲ罰シテ世間ニ殺伐ノ氣風アラセヌヤウシタル者ナリ

第三百二十一條 自己ノ利ヲ圖リ人ヲ教唆シテ自殺セシメタル者ハ重懲役ニ處ス

自己ノ利ヲ圖ルトハ其人ガ死スレバ我身ニ利益アルヲ思ヒ計リテ爲スヲ云フ例ヘハ親ガ死スレバ遺物ノ相續ガ出來ルトカ夫ガ死スレバ他家ニ縁付ガ出來ルトカ云フ卑劣ナル心底ヨリ人ノ急場ニ乘テ爲スヲ云フ斯様ノ惡キ心底ヨリ人ロ自殺ヲ申勸メ遂キニ其事ヲ行ハセタル者ハ利慾ノ爲メユエ前ノ教唆トハ同シカラテハ此レハ重罪ノ仕業トシテ重懲役ニ行フナリ

前條ハ輕罪ニテ別ニ明文ナキヲ見レバ無論其未遂犯罪ハ罰セヌモノナレハ此條ハ重罪ナレバ若シ人ニ自殺ヲ勸メテ其人ガ死ソコテタル時ト云ヘハ矢張刑罰ハ免ルベシ得ズ唯一段又ハ二段ヲ減シテ處斷サル、ナリ

第六節 擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪 凡四條

此節ハ平人ガ人ヲ召捕ル權利モナキニ勝手ニ他人ヲ逮捕ヘ又ハ監禁トテ牢屋様ノ場所ニ其人ヲ押込メ置キタル罪ヲ定ムルナリ役人ガ擅ニ人ヲ逮捕監禁シタル罪ハ前ノ第二編第二百七十八條以下ニ在リテ此節ノ箇條ト稍ヤ似寄リタル者ナレハ解モ其部ヲ見合ハスヘシ

第三百二十二條 擅ニ人ヲ逮捕シ又ハ私家ニ監禁シタル者ハ十一日以上二月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上

擅ニ人ヲ逮捕スル罪

二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但監禁日數十日ヲ過クル
毎ニ一等ヲ加フ

擅ニ人ヲ逮捕スルトハ罪ナキ人ハ勿論假令ヒ罪アル人
ト云ヘル治罪法ニ定メアル現行ノ犯罪人ノ外ハ人民ノ
名代人タル其筋ノ役人ナラデハ之ヲ召捕ルヲ許サズ者
ナルニ差出ガマシク非分ノ召捕ヲ爲シ繩ナド掛ケタル
法外ノ仕業スルヲ謂フサレハ親戚ノ狂人ヲ縛リ息子ノ
惡作ヲ戒シムル爲メニ暫時縛リ置キタル類ハ危害ヲ防
キ教育ノ爲メニスル者ナレバ擅ニ逮捕スルト云フ限リ
ニアラズ畢竟ズルニ人ニ害アル逮捕ヲ云フナリ私家ト
ハ公廨ニ對スル言葉ニテ自宅他家ノ差別ナク總テ役所
外ノ家ヲ云フ監禁トハ身儘ノナラヌヤツニ囚ヘ置キ云
フ凡ソ人民タル者ガ役目モナキニ互ニ人ヲ召捕ヘ人ノ

自由ヲ妨クルニ於テハ世間ノ折居ハツクベクモアラズ
喧嘩爭鬪常ニ絶ル間ナカルベケレバ、カチテ其筋ノ役人
ヲ設ケ置其人ナラデハ勝手ニ召捕ルヲ許サズカラニハ
假令ヒ罪アル人ト云ヘル平人ノ妄リニ之ヲ捕ルハ非分
ノ咎道ガルベカラズ故ニ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ
併シ監禁ノ日數十日ヲツヅトニ一段ヲ加ヘ十日以上二
十日以下ナレハ十三日以上二箇月十五日以下ノ重禁錮
二圓五十錢以上二十五圓以下ノ罰金ヲ申付二十日以上
三十日以下ハ十六日以上三箇月以下ノ重禁錮二圓以上
三十圓以下ノ罰金ヲ申付以上皆此例ニテ加フルナリ

第三百二十三條 擅ニ人ヲ監禁制縛シテ殴打拷責シ又
ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施シタル者ハ
二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以

擅ニ人ヲ逮捕監禁スル罪

下ノ罰金ヲ附加ス

制縛トハ威力ヲ以テ、オトシツケ又ハ縛リテ其場ヲ、ヌケ出ルコトノ出来ヌ様ニスルヲ謂フ斯様ニ制縛シタルガ上ニ其人ヲ毆打拷問ノ責メニ及ビ或ハ飲物食物衣類ヲ取除ケテ與ヘズ其外例ニ鈎リ上ゲルナド苛刻仕業ヲ施シタル者ハ前條ノ唯逮捕監禁シタル者ヨリハ重キユエニ箇月以上二箇年以下ノ重禁錮三箇月以上三十箇月以下ノ罰金申付ルナリ

第三百二十四條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

前條ノ人ヲ監禁制縛シテ毆打拷責シ又ハ飲食衣服ヲ屏去シ其他苛刻ノ所爲ヲ施スト云フ罪ヲ犯シ因テ人ヲ病

氣ツカセ又ハ死ナシ傷ツケタル者ハ前ノ毆打創傷ノ箇條々々ニ引合セテ、ドナラカ重キ方ニ處斷スルナリ例ハ人ヲ病氣ツカセテ休業二十日以下ニ止ル者ハ前條ノ刑罰ガ重キユエ之ニ從ヒ二十日以上ナレハ第三百一條ガ重キユエ之ニ依テ一箇年以上三箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ癘疾ニ至ラセタル者ハ第三百條ガ重キユエ之ニ依テ二箇年以上五箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ篤疾ニ至ラセタル者ハ第二百九十九條ガ重キユエ之ニ依テ重懲役ニ處斷スル類ナリ

第三百二十五條 擅ニ人ヲ監禁シ水火震災ノ際其監禁ヲ解クコトヲ怠リ因テ死傷ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

擅マ、ニ人ヲハ囚ヘ置キテ洪水出火地震天災ナドアル

時其囚ヲ解キ放ナツテ忘リ計ラズ其人ヲ死ナセ或ハ
純負ハセタル者ハ亦前條ノ例ト同ク罰スルナリ

第七節 脅迫ノ罪 凡四條

脅迫トハ、オドシセマル義ニテ惡事暴行ヲ手詰メノ
道具ニ見セカケ先ヅ言葉書而并ニ容貌ヲ以テ他人
ヲ、オドシ付ルヲ謂フ故ニ果シテ其言葉カ書而通り
ニ惡事暴行ヲ働ク者カ働カヌ者カハ後ニ至ラテハ
知リ難キ者ナレト夫レガ爲メニ人ヲ懼ラシ世間ノ
安堵ヲ妨クル惡事ナレバ唯人ヲ、オドシタル仕業ノ
ミコト罪トナルナリ

第三百二十六條 人ヲ殺サント脅迫シ又ハ人ノ住居シ
タル家屋ニ放火セント脅迫シタル者ハ一月以上六月
以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附

加ス
殴打創傷其他暴行ヲ加ヘント脅迫シ又ハ財産ニ放火
シ及ヒ毀壞劫掠セント脅迫シタル者ハ十一日以上二
月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附
加ス
凡ソ人ハ我生命ヲ絶タル、ヨリ怖ロシキハ無キニ言葉
書而並ニ容貌ヲ以テ其生命ヲ絶ツベシト、オドシセマリ
又其住宅ヲ燒カバ事ニ因リテハ生命ニモ關カルベキ者
ナルニ之ニ向テ付火スベシト、オドシセマルハ其本人ハ
勿論世間ノ安心ヲ害スル仕業ナレバ其仕業ノミニテ一
箇月以上六箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ二圓以上二十圓以
下ノ罰金ヲ申付ルナリ故ニ若シ其脅迫通りニ人ヲ殺シ
人ノ住宅ヲ燒キタル者ハ唯此條ノ罰ノミコトハ濟マズ

當サニ其本箇條ニテ罰セラルベキナリ後段ノ毆打暴行
ナドモ亦同シ
毆打創傷其外強姦監禁ナドノ暴行ヲ加フベシト、オドシ
迫リ又ハ住宅ニアラヌ屋敷、船舶、積荷、山林ナドノ財産ニ
火ヲ付ケ并ニ其財産ヲ毀テ壞リ、掠メ取ラント、オドシ迫
リタル者ハ前ノ生命ニ恐レアル仕業ヨリハ輕キユニ十
一日以上二箇月以下ノ重禁錮二箇以上十箇以下ノ罰金
ヲ申付ルナリ

第三百二十七條 兇器ヲ持シテ前條ノ罪ヲ犯シタル者
ハ各一等ヲ加フ

兇器ヲ持ストハ其脅迫ノ爲メニ刃物類ヲ携ヘ持ツ義ニ
テ刀ヲ手ニ持チ又ハ短銃ナドヲ懷中ヨリ示メシテ脅迫
ノ實勢ヲ見スルヲ謂フ斯様ニ兇器ヲ示メシテ前條脅迫

ノ罪ヲ犯スルハ人ノ恐レモ深キユニ孰レモ其罰一段ヲ
加ヘ人ヲ殺サント脅迫シタル者ハ一箇月七日以上七箇
月十五日以下ノ重禁錮二箇五十圓以上二十五圓以下ノ
罰金ヲ申付毆打創傷其外暴行ヲ加ヘント脅迫シタル者
ハ十三日以上二箇月十五日以下ノ重禁錮二箇五十圓以
上十二箇五十錢以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第三百二十八條 親屬ニ害ヲ加フ可キ事ヲ以テ脅迫シ
タル者ハ亦前二條ノ例ニ同シ

親屬トハ總則第百十五條ニ定メアル親類ヲ云フ此親類
殊ニ父母妻子兄弟ナドハ互ニ相愛スルヲ其身ヲ愛スル
ニ劣ラヌ者ナレバ之ヲ殺シ又ハ其住宅ニ放火シ毆打創
傷其外暴行ヲ加フヘキ事ヲ以テ同シ親類ノ者ヘ脅迫シ
タル者ハ其本人ノ身體財産ニ付脅迫スルト同様ナレバ

前二箇條ノ例ト同ク罰スルナリ
第三百二十九條 此節ニ記載シタル罪ハ脅迫ヲ受ケタ
ル者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

此第七節中ニ書載セアル脅迫ノ罪ハ、モト他人ニ向ツテ
言葉書面并ニ容貌ノ力ニ因リ其心ニ恐怖ヲ懷カスル仕
業ナレハ假令如何ナル暴行ヲ以テ、オドサル、モ更ニ心
ニ掛ケヌ人モ有ルヘク又左程ノ事モナキニ痛ク恐怖ヲ
懷ク人モアルベク到底其人ノ心ナラデハ脅迫ノ實害ハ
知レヌモノナレバ脅迫ヲ受ケタル本人又ハ其親類ノ告
訴ナキニ外ノ心ヨリ推測リテ安リニ人ヲ罪ニ入ルベキ
者ニ非ス故ニ本文告訴ヲ待テ其罪ヲ論シ告訴ナケレバ
外ノ人民ハ勿論檢事警察官吏ノ告發公訴モ受ケヌナリ
第八節 墮胎ノ罪 凡六條

墮胎ノ罪トハ藥又ハ術ヲ以テ己ガ胎内ノ兒ヲオロ
シ又ハ人ニオロサスル惡事ヲ云フ胎内ノ生兒ヲオ
ロスハ矢張人ヲ殺ス惡事ナレトモ間ヨリ間ニ移ス仕
業ナレハ常並ノ人殺トハ同シカラズ又出産ノ後ナ
ラデハ念ニ無事ニ生レ出ルカ出デヌカノ定メモツ
カチバ人情道理上トモニ人殺ノ犯罪トハ異ナレトモ
亦天理ニ背キ人情ニ戻リ人種ノ繁殖ヲ妨害スル惡
事ナレバ之ヲ罰シテ風俗ヲ保チ人種ノ繁昌ヲ守護
スルモノナリ

第三百三十條 懷胎ノ婦女藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎
シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス
凡ソ懷胎ノ婦女ガ自身ニ藥物其他ノ仕方ヲ以テ胎内ノ
兒ヲオロスハ多クハ密通ノ出來事ニテ其兒ヲ産ミテハ

親兄弟ニ面目ナク世間ノ手前モ耻カシトテ心ナラズモ
爲ス仕業ナレハ聊カ不憫ノ所モアリ左ナクモ兒ドモノ
數多クシテ養育ニ困ルナドノ情實ニ出ルナレハ自身ニ
墮胎スル者ハ其罪ヲ輕クシ本文一箇月以上六箇月以下
ノ重禁錮ニ行フナリ

第三百三十一條 藥物其他ノ方法ヲ以テ墮胎セシメタ
ル者ハ亦前條ニ同シ因テ婦女ヲ死ニ致シタル者ハ一
年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

此條ハ本夫姦夫又ハ親類ノ者ガ懷胎ノ婦女ニ勸メテ其
婦女承諾ノ上墮胎サセタル罪ヲ定ムルナリ自身ノ墮胎
コアラヌモ素ト其婦女ト同シキ心ヨリ出ル罪ニテ彼此
輕重ヲ分カツヘキ者ニアラテハ亦前條ト同ク一箇月以
上六箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ若シ其墮胎ノタメニ圖ラ

ズ婦女ヲ死ナセタル者ハ人ノ身ノ上ニ付危險ヲ顧ミサ
リシ罪アルユエ此レニハ一箇年以上三箇年以下ノ重禁
錮ヲ申付ルナリ

第三百三十二條 醫師穩婆又ハ藥商前條ノ罪ヲ犯シタ
ル者ハ各一等ヲ加フ

醫師穩婆トリアンバ又ハ藥商人ハ己ガ職業ニ付普ク諸人ノ求メニ
應シテ藥ヲ盛リ術ヲ施ス者ナレハ若シ其人ニシテ前條
懷胎ノ婦女ノ頼ミヲ受ケ又ハ之ニ言勸メテ墮胎ノ罪ヲ
犯サスルハモト其道ニ明ルク其藥種道具ノ備ヘモアリ
テ之ヲ犯スニ犯シ易ク而カモ豫妨シ難キ惡事ナレハ前
條ノ刑ニ一段ヲ加ヘ唯墮胎ノ罪ナレハ一箇月七日
以上七箇月十五日以下ノ重禁錮ニ行ヒ死ニ至ラセタル
罪ナレハ一箇年三箇月以上三箇年九箇月以下ノ重禁錮

第三百三十三條 懷胎ノ婦女ヲ威逼シ又ハ誑騙シテ墮胎セシメタル者ハ一年以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

威迫トハ、オドシセマル義ニテ其婦女ガ墮胎ヲ好マザルニ之ニ勸メテ若シ其言ニ從カハテハ背キ目ヲ見センナド、威勢ヲ以テ責メ付クル類ヲ云フ誑騙トハ、ダマシスカス義ニテ外ノ藥ト詐ハリテ墮胎藥ヲ吞マスル類ヲ云フ本人ガ不承知ナルヲ威勢詐偽ノ仕業ヲ以テ無理ニ墮胎ノ藥ヲ吞マセ又ハ外ノ仕方ヲ以テ之ニ墮胎ヲセタル者ハ前條々ノ承知ズルニテ墮胎ヲセタルヨリハ重キニ一箇年以上四箇年以下ノ重禁錮ヲ申付ルナリ

第三百三十四條 懷胎ノ婦女ナルヲ知テ毆打其他暴行ヲ加ヘ因テ墮胎ニ至ラシメタル者ハ二年以上五年

以下ノ重禁錮ニ處ス其墮胎セシムルノ意ニ出タル者ハ輕懲役ニ處ス

懷胎婦女ト知リツ、之ヲ厭ハルコトハ爲サズ墮胎サスル存意ハナクモ打擲其外手荒キ仕業ヲ加ヘテ計ラズ墮胎ヲセタル者ハ前條ノ唯威シ、スカシ、タル仕業ヨリハ重キニ此レニハ本文ノ重禁錮ヲ申付ケ若シ最初ヨリ墮胎サスル存意ニ因リテ斯ク打擲手荒ノ仕業ヲ加ヘ果シテ存意通りニ至ラセタル者ハ如何ニモ兇惡ノ仕方ニ此レハ重罪ノ惡事トシテ輕懲役ニ行フナリ本文懷胎ノ婦女ト知リテ云々トアレバ若シ知ラスニテ犯シタル者ハ固ヨリ此條ニハ觸レヌナリ

第三百三十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ婦女ヲ癡篤疾又ハ死ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キ

ニ從テ處斷ヌ

前兩條ノ罪ヲ犯シ因テ其婦女ヲ癡疾篤疾又ハ死亡ニ至ラセタル者ハ前ノ毆打創傷ノ各本條ニ照シ此兩條ト彼本條ト孰レカ重キ方ニ處斷スルナリ、ヨ、ニ癡篤疾ノ外疾病ノ事ヲ云ハヌハ墮胎ガ已ニ疾病ニ致シタル犯罪ナレハナリ

第九節 幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪 凡五條

幼者トハ八歳以下ノ兒女ヲ云フ老疾者トハ老人病人ノ義ニテ年老ノ又ハ病氣ニ罹リテ自身ニ稼ギ暮シノ出來ヌ者ヲ云フ遺棄トハ人里離レタル場所ニ捨去リ又ハ別ニ養フ者モナキニ我家ニ置キ去リニスルヲ謂フ

第三百三十六條 八歳ニ滿サル幼者ヲ遺棄シタル者ハ

一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

自ラ生活スルコト能ハサル老疾者ヲ遺棄シタル者亦同シ

八八歳ニ滿ラヌ間ハ此刑法ノ上ニ於テハ何ノ辨別モ、ツカズ人ノ力ニ依ラズシテハ生活ノ出來ヌ者ト見ルガ故ニ總則第七十九條ニモ滿八歳以下ノ者ハ如何ナル惡事アリ其罪ハ構ハヌ旨ノ記載アル程ナルヲ其養育ノ苦勞ヲ厭ヒテ人ノ往來スル道端カ人家ノ門口ナドニ棄去リ又ハ其家ニ置去リニシタル類ハ人情ニ有ルマシキ惡事ナレト人ノ幼兒ヲ愛スルハ、モト其天然ノ性情ニ出デ入ノ指圖ヲ待ツマデモ無ケレバ之ヲ棄ルハ何か、ヨク々々ノ事情ナシテハ爲ヌ者ナレバ其犯罪モ自ツト少ナシ且此條ノ遺棄ハ誰ナリト拾ヒ揚ケテ育テ呉ル、者アルベシトノ考ニ出デタル者ニテ下條ノ如ク無人ノ土地ニ

幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

棄タル者ニアラテハ左マデ嚴シキ罰ハ用ヒズ唯一箇月
以上一箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ
又老人并ニ病人ハ前ノ小兒ノ如クニ事物ノ辨別立タヌ
モノニハアラテ下自親ニ生活ノ出來ヌニ於テハ矢張小
兒ノ如クニ人ノ養ヲ待ツ者ナレハ之ヲ棄ルハ小兒ヲ棄
ルト同様ユエ矢張前段ノ罪ト同ク一箇月以上一箇年以
下ノ重禁錮ニ行フナリ

第三百三十七條 八歳ニ滿サル幼者又ハ老疾者ヲ寥闕
無人ノ地ニ遺棄シタル者ハ四月以上四年以下ノ重禁
錮ニ處ス

寥闕無人ノ地トハ寂寥靜闕ニシテ人ノ往來少キ山中野
原ノ類ヲ云フ斯様ノ場所ニ八歳未滿ノ小兒又ハ老人病
人ヲ棄ルルハ之ヲ救ヒ遣ハス人モ少ク事ニ因レバ猛獸

毒蛇ノ餌食トナルモ計ラズ誠ニ残忍ノ仕業ニテ前條
遺棄ノ罪ヨリハ重キユエ此レニハ本文ノ重禁錮ヲ申付
ルナリ

第三百三十八條 給料ヲ得テ人ノ寄託ヲ受ケ保養ス可
キ者前二條ノ罪ヲ犯シタル時ハ各一等ヲ加フ

人ノ寄託ヲ受ケテ給料ヲ取り幼者老人病人ヲ保チ養フ
身分ニテ前兩條ノ罪ヲ犯スハ其情殊ニ惡ムヘキ仕業ナ
レハ一段ヲ加ヘ寥闕ナラヌ地ニ棄テタル者ハ一箇月七
日以上一箇年三箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ寥闕ノ地ナレ
バ五箇月以上五箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ

第三百三十九條 幼者老疾者ヲ遺棄シ因テ癡疾ニ致シ
タル者ハ輕懲役ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ重懲役ニ
處シ死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

寮園ノ地寮園ナラヌ地ノ差別ナクハ八歳未満ノ幼者並ニ
 老人病人ヲ棄去ルニ因テ計ラズ癘疾ニ至ラセタル者ハ
 重罪トシテ輕懲役ニ行ヒ篤疾ニ至ラセタル者ハ重懲役
 ニ行ヒ死亡ニ至ラセタル者ハ有期徒刑ニ行フナリ此癘
 疾又ハ篤疾死亡ニ至ラスルハ例ニハ棄テラレタル本人
 ガ食ヲ得ヌタメニ餓死ヲ爲シ飢餓ニ堪ヘズシテ身ヲ投
 ゲ首ヲ縊リ谷川ニ墮テテ怪我ヲナシ猛獸毒蛇ノタメニ
 害サレタル類ヲ云フ棄テラレタルガ爲メニ此場合ニ至
 リタル者ナレバ斯ク棄テタル本人ノ刑ヲ重クスルナリ
 第三百四十條 自己ノ所有地又ハ看守ス可キ地内ニ遺
 棄セラレタル幼者老疾者アルコトヲ知テ之ヲ扶助セス
 又ハ官署ニ申告セサル者ハ十五日以上六月以下ノ重
 禁錮ニ處ス

若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アルコトヲ知テ扶助セス又
 ハ申告セサル者亦同シ
 凡ソ人ノ持地内ニハ他人ノ安リニ立入ラヌモノナレバ
 若シ其地面内ニ棄兒ナドアリタル時ニ其地主ナレバ拾
 ヒ揚ゲテ扶助モナサズ又役所ニモ届出ヌルハ餓死スル
 ノ外ナカルベケレバ唯疎畧不人情ノ罪ノミニ止マラズ
 サレバ本文自分ノ持地又ハ人ヨリ頼テ受テ番チスル
 地面内ニ遺棄サレタル八歳未満ノ小兒カ又ハ老人病人
 アルコトヲ知リツ、食物ヲ與ヘ家内ニ連レ込ムナドノ扶
 助ヲ爲サズ役所ニモ届出ヌ者ハ十五日以上六箇月以下
 ノ重禁錮ニ行フナリ
 右ノ如ク人ヨリ棄テラレタル若シテハテクハ自分ノ持地
 又ハ自分ガ尋チヌル地面内ニ病氣ニ罹リテ昏倒シ歩

幼者又ハ老疾者ヲ遺棄スル罪

行モ出来ズニ苦シム者アルヲ知リツ、扶助セズ役所へ
モ届出ヌモノハ亦前段ノ罪ト同ク十五日以上六箇月以
下ノ重禁錮ニ行フナリ

第十節 幼者ヲ略取誘拐スル罪

凡五條

幼者トハ、コ、ニテハ男女ノ別ナク總テ二十歳未滿
ノ者ヲ云フ略取トハ承知セヌ者ヲ無理無体ニ連レ
行クヲ謂フ俗ニカドワカスト云フハ此事ナリ誘拐
トハ虚偽ヲ言聞ケテ承知サセタル上連レ行クヲ謂
フ二十歳未滿ノ者ハマダ充分ニ成リ立タヌ人ナレ
バ、コ、ニ規則ヲ設ケテ足ラハヌ者ヲ保護スルナリ

第三百四十一條 十二歳ニ滿サル幼者ヲ略取シ又ハ誘
拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ二年
以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

十二歳ニ滿タヌ小兒ハ惡事ヲ妨グ力モナク眞カ偽カヲ
聞分クル知慧モ無ケレハ之ヲ無理無体ニ連レ去リ又ハ、
ママシテ連行キ自身ノ宅ニ藏匿シ置クカ或ハ他人へ渡
シタル者ハ本人ヤ親兄弟ノ歎ケキバカリテナク世間ノ
人々ニ恐レテ懷カスル罪人ナレハ此ニハ本文ノ禁錮罰
金ヲ申付ルナリ本文禁錮罰金ノ思ヒノ外ニ重キ譯ハ全
體略取誘拐ノ惡事ハ娼妓ニ賣ルカ姦淫ノ爲メカ左ナク
ハ我が子トシテ利ヲ圖ル慾心ヨリ出ルナレハ本人ヲ害
シ親兄弟ノ忠ヲ成ス一深ケレハナリ又歳ヲ十二ト限リ
其以上以下ニテ罪ノ輕重ヲ分チタル譯ハ十二歳以下ノ
者ハ、マダ充分ニ成立タヌ人ナレハ前ノ第七十九條ノ意
ニ基キ且畧取誘拐ハ重モニ女子ノ被害ヲ慮ハカル者ナ

レハ後ノ第三百四十六條ニ其以下以上ニテ罪ノ輕重ヲ分チタル律意ニモ基クナルベシ

第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ滿サル幼者ヲ竊取シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

男女トモニ最早十二歳以上トナレバ稍ヤ知慧モツキカモ備ハリテ惡事ヲ防キ眞偽ヲ辨ヘルニ足ル頃ナレバ前條ノ十二歳以下トハ同シガラズ、サレドモマダ二十歳ニ至ラヌ間ハ充分力ノ備ハラヌコトナレバ略取シテ自宅ニ藏シシ又ハ他人ニ渡シタル者ハ一箇年以上三箇年以下ノ重

禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ申付ケ誘拐ニ至リテハ唯口先ニテスル仕業ナレバ最早十二歳以上トモナレバ之ヲ避クルニ難カラヌユエカヅクノ略取ヨリハ罰ヲ輕クシ六箇月以上二箇年以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第三百四十三條 略取誘拐シタル幼者ナルコトヲ知テ自己ノ家屬僕婢ト爲シ又ハ其他ノ名稱ヲ以テ之ヲ收受シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

自親ニ略取誘拐ハセズトモ人ニ略取誘拐セラレタル不仕合ノ幼者ト知リツ、之ヲ受取リテ己ガ妻カ養女養子トシテ總テ其家屬ト爲シ或ハ下男下女トシテ召使フカ又ハ出稼ノ藝娼妓同居人ナドイフ稱ヘテ以テ其幼者ヲ受取リタル者ハ人ノ難儀ヲ顧ミズ惡事ノ露顯ヲ妨クルモ

ノユニ前兩條ノ例ニ引合セテ自親ニ連レ來リタル者ノ
 罪ヨリハ一段ヲ減シ十二歳以下ノ幼者ヲ受取りタル者
 ナル時ハ一箇年六箇月以上三箇年九箇月以下ノ重禁錮
 七圓五十錢以上七十五圓以下ノ罰金ヲ申付ケ十二歳以
 上二十歳以下ノ幼者ナルキハ略取ノ分ニハ九箇月以上
 二箇年三箇月以下ノ重禁錮三圓七十五錢以上三十七圓
 五十錢以下ノ罰金ヲ申付ケ誘拐ノ分ニハ四箇月十五日
 以上一箇年六箇月以下ノ重禁錮科料一圓五十錢以上罰
 金十五圓以下ヲ申付ルナリ

第三百四十四條

前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ
 其親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタ
 ル幼者式ニ從テ婚姻ヲ爲シタル時ハ告訴ノ效ナシ
 第三百四十一條以下ノ數條ニ書載セアル略取誘拐ノ犯

罪ニ付テノ規則ハ專テ害ヲ受ケタル本人並ニ其親類ヲ
 保護スルタメニ設ケタル者ナレハ若シ其本人共ニ於テ
 事ヲ表沙汰ニスルキハ却テ耻ヲ世間ニ暴ラシ縁談ナド
 ナ妨ゲトナルヲ恐レテ其儘ニ打捨置又ハ内分ノ事濟ニ
 至リタルヲ役人ガ之ヲアバキテ表沙汰ニスルキハ被害
 人ハ却テ迷惑スベキナレハ本人又ハ親類ノ訴ナシテハ
 其罪ヲ構ハズ訴アリテ始メテ犯罪トシテ罰スルナリ併
 シ畧取誘拐サレタル本人ガ畧取誘拐シタル本人ガ又ハ
 其息子ナドニ納得ノ上夫婦トナリ役所ニ届出ルナド其
 儀式ヲ行ヒタル者ナルキハ本人ハ勿論親類ノ者トテモ
 其後ニ至ラバ畧取誘拐ノ罪ヲ訴ヘテモ取上ゲヌナリ其
 譯ハ假令ヒ最初ハ承諾ノ上從ヒ行キタルニハアラヌニ
 セヨ其後互ノ本心ニ因テ婚姻ノ式マデモ行ヒタル者ナ

レハ後日ニ至リテ本人ヨリ訴へ出ル管モナク又親類ト
テモ其愛情ヲ割キ分クベキ者ニアラチハ斯ク婚姻ノ式
ヲ以テ以前ノ犯罪ト被害ノ事ヲ打消スモノト定メタル
ナリ

第三百四十五條 二十歳ニ滿サル幼者ヲ略取誘拐シテ

外國人ニ交付シタル者ハ輕懲役ニ處ス

二十歳以下ノ幼者ヲ略取誘拐シテ外國人ニ渡ス仕業ハ
本人親類ノ悲歎モ深ク之ヲ捜スニモ捜シ得難ク其上我
政府ノ支配ヲ脱レサスル惡事ナレハ此レハ本人共ノ告
訴ヲ待タズ直ニ重罪トシテ輕懲役ニ行フナリ

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪 凡九條

猥褻トハ他人ニ向ツテ、ミダラノ振舞ニ及フヲ謂フ
姦淫トハ強姦並ニ十二歳以下ノ女ヲ姦シ又ハ夫ア

ル女ノ密通ヲ云フ重婚トハ配偶者アル身ニテ重テ
テ他人ト婚姻スルヲ謂フ

第三百四十六條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ猥褻ノ所
行ヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以
テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以上以下ノ重
禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

凡ソ十二歳以下ノ男女ハ、マダ淫事^{イロコト}ヲナスベキ時分ナラ
ズハ假令ヒ其男女ハ承諾スルモ其承諾ハ情欲ノ本心ヨ
リ出ルコトハアラヌコトニ向テ別段手荒ノ事モナクシ
テ猥褻^{ミダラ}ノ行ヒヲ爲シ又ハ十二歳以上ノ男女ニ向ヒ暴行
脅迫ヲ以テ無理ニ猥褻^{ミダラ}ノ行ヒ(十二歳以上ニハ限界ナシ)
ヲナシタル者ハ人ノ行儀ヲ破リ世間ノ風俗ヲ害スル者
ナレハ人ノ見ル前ト見ヌ場所トノ差別ナク皆一箇月以

上一箇年以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ右猥褻ノ行トハ、マダ姦通マテニ至ラヌ仕業ヲ云フ併シ男色ハ此猥褻ノ中ニコモルナリ

第三百四十七條 十二歳ニ滿サル男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

マダ十二歳ニナラヌ男女ニ向ヒ暴行脅迫ヲ以テ無理ニ猥褻ノ仕業ニ及ヒタル者ハ前條ノ犯罪ヨリハ重キユニ其罰ヲ重クシ二箇月以上二箇年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第三百四十八條 十二歳以上ノ婦女ヲ強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス
藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精神ヲ錯亂セシメ

テ姦淫シタル者ハ強姦ヲ以テ論ス

十二歳以上ノ婦女トハ處女又ハ他人ノ妻其外如何ナル身分如何ナル年齢ノ差別ナク我妻ヨリ外ハ皆此中ニ、コモルナリ凡ソ十二歳以上ノ男女ガ互ニ納得ノ上ニテ淫事ヲナスハ行儀ノ上ヨリ之ヲ視レハ甚ダ宜シカラヌ仕業ナルノミナラスソレガ爲メコハ色々ノ差違レテ引起シ其間ニ出來タル兒供ノ養育モ届カヌナド世間ノ爲メニモ至極宜シカラヌ仕業ナレド、モト人タル者ノ性情ヨリ起ル事ユニ之ヲ禁スルモ其甲斐ナク却テ墮胎ノ犯人ヲ殖シ賣淫ノ流行ヲ促スナド色々ノ不都合ヲ生スルガ故ニ他人ノ妻ヲ除ク外ハ法律ハ之ヲ人々行儀ノ上ノ嗜ナミニ任セ別ニ其罪ヲ問フコトハナキ者ナレド其婦女ガ承諾セヌチ力ツクニテ無理ニ淫事ヲ行フハ其本人ヲ害

スルハ勿論世間ノ風俗ヲ害スルノ重キ罪ユニ此レニ
ハ本文ノ輕懲役ヲ申付ルナリ
藥又ハ酒ナドヲ用ヒテ其婦女ヲ正體ナキ程ニ睡ラセ又
ハ何事ヲサル、カ分ラヌ程ニ精神ヲ亂ラセ本人ガ拒マ
ヌヤウニシテ淫事ヲ行ヒタル者ハ婦女ノ承諾ヲ得ズニ、
其身ヲ瀆ガス仕業ニ於テハ矢張力ツクノ強姦ト同様ユ
ニ此レモ強姦トシテ輕懲役ニ行フナリ

第三百四十九條

十二歳ニ滿サル幼女ヲ姦淫シタル者

ハ輕懲役ニ處ス若シ強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス

前ニモ説キタル如ク女子ノ、マダ十二歳ニナラヌ間ハ體
格ト云ヒ情欲ト云ヒ淫事ヲ行フベキ時分ナラテハ假令
ヒ承諾ハサセタリト孰レ、ダマシ、スカシ、シタル上ノ承諾
ナルベク左ナキモ身體ヲ損ヌル憂モアレハ之ト淫事ヲ

行ヒタル者ハ其幼女ノ承諾不承諾ニ拘ハラズ孰レモ輕
懲役ニ行ヒ若シ前條ノ如キ強姦ヲ爲シタル者ハ一段上
ノ重懲役ニ行フナリ

第三百五十條

前數條ニ記載シタル罪ハ被害者又ハ其

親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

此條モ前ノ第三百四十四條ト同趣意ニテ被害ノ本人並
ニ其親類ヲ保護スル者ナリ

第三百五十一條

前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ因テ人

ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キ
ニ從テ處斷ス但強姦ニ因テ癱篤疾ニ致シタル者ハ有
期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

此條ノ意ハ前數條ニ書載セアル猥褻姦淫ノ罪ニ因リテ
人ヲ死ナセ又ハ疵サセタル者ハ第二百九十九條以下ノ

毆打創傷ノ箇條々々ニ引合セテ前數條ト孰レカ重キ方ニ處斷スルナリ併シ強姦ノタメニ癩疾篤疾ニ至ラセタル者ハ毆打創傷ノタメニ癩疾篤疾ニ至ラセタル者ヨリハ重キユエ罰ヲ重クシテ有期徒刑ニ行ヒ死ニ至ラセタル者ハ無期徒刑ニ行フトナリ

此條ノ犯罪ハ猥褻姦淫ノタメニ人ヲ死傷ニ致シタル者ニテ其害唯被害ノ本人并ニ其親類ノ上ニ止マラヌ一般ノ公害トナル仕業ナレバ本人共ノ訴ヲ待タズ其筋ニ在ル役人ノ訴ニ因テ其罰ニ行フナリ下條ノ犯罪并ニ第三百五十四條重婚ノ犯罪モ亦然カナリ

第三百五十二條 十六歳ニ滿サル男女ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

マダ十六歳ニナラヌ男女ハ大概色情ノ萌シ少ク自身ニ相手ヲ求メテ淫事ヲ爲シ得ル者ニアラズ况ジテ前後ノ分別モナキ頃ナルチ人ノ頼ミカ又ハ自身ノ好ミニ因リテ之ニ淫事ヲ勸メ誘ヒキ其媒合ヲ爲スモノハ幼者ノ知慧少キニ乘^{ツク}ミ其身持ヲ壞サセ父母ノ憂ヲナス罪アルユエ此レニハ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ此犯罪モ亦一般ノ公害トナルモノユエ親類ノ訴ハナクモ其罪ヲ問フ者ナリ

此條ハ専ラ雇人請宿渡世ノ者ナトガ雇女ヲ誑シテ娼妓トナラセ或ハ船宿女髮結ナドガ男女ノ間ニ在ツテ取持ヲ爲シ幼者ヲ欺キテ姦淫ヲサセ利慾ノタメニスルヲ預見シテ設ケタル者ナリトゾ

第三百五十三條 有夫ノ婦姦通シタル者ハ六月以上二

年以下ノ重禁錮ニ處ス其相姦スル者亦同シ
此條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス但本夫先ニ
姦通ヲ縱容シタル者ハ告訴ノ效ナシ

此條ノ意ハ凡ソ夫ヲ持テル婦人ニシテ外ノ男ニ情ヲ通
シ之ト淫事ヲ行ヒタル者ハ一夫ヲ守ラヌ罪人ナレバ六
箇月以上二箇年以下ノ重禁錮ヲ申付其相手ノ男モ亦右
ノ婦人ト同ク六箇月以上二箇年以下ノ重禁錮ヲ申付ル
ナリ、サレドモ此條姦通ノ犯罪ハ直接ニ其害ノ及フ所ハ本
夫一人ニアルモノナレバ若シ本夫ニ於テ其事柄ヲ表沙
汰ニスル所ハ却テ其身ノ耻ヲ暴ラシ又ハ兒供ノ養育ニ
害アルナドノ情實ニ因テ本夫ガ其事ヲ隱クシ置クナ外
ヨリ發キ出ス所ハ却テ本夫ノ迷惑トナルト云エ本夫ノ
訴ナケレバ罪ヲ構ハズ併シ本夫ガ其前妻ノ姦通ヲ見テ

モ見ヌ振リテ爲スカ又ハ姦通ノ相手ヨリ金ヲ貰ヒテ承
諾シタルナド總テ姦通ヲ縱容シタル實アル所ハ妻ノ貞
操ヲ破リタルハ夫ノ好ミニ出タルト同様に後ニ至
リテ其犯罪ヲ訴フルモ固ヨリ其甲斐アラヌトナリ
凡ソ夫婦タル者ハ各一夫一婦ノ法制ニテ重テ婚姻ス
ルヲ許サズ犯サハ下條ノ罰ヲ受クベク夫婦互ヒノ間ニ
於テハ權利ニ差等ハナキ者ナレドモ獨リ婦ニハ姦通ヲ禁
シ夫ハ他婦ト姦スルモ其本妻ニ對シテハ些モ法律上ノ
罪ナシトスルハ何故ゾヤ各一夫一婦ノ法制ナレバ獨リ
婦ノミハ罰スベカラス夫モ同罰ヲ受クルコソ雙方鈎合
ヲ得ル道ナルベキニ唯我日本ノミニ限ラズ歐米諸國ノ
女權強キ邦ニ於テモ矢張婦ノ姦通ハ罰スルモ夫ノ姦通
ハ罰セス者ナリ(但之ト同居スレバ罰スル邦アリ)其故ハ

婦女ハ謂ハユル受身ニテ男子ノ胤種ヲ宿スヲナレハ若シ之ニ姦通ヲ許シタランニハ終井ニ本夫ノ胤種ヲ案リ子女ノ不幸ヲ醸スノミナラズ其養育ニツキテモ害アリ隨テ人類一般ノ害トナルヲ男子ノ姦通ト同シカラテハ何レノ邦ニテモ專ラ婦女ヲ責ムル者ナリ倫理ノ教モ亦之ニ因テ起ル者ナレバ本條ノ規則モ此理ノ外ニハ出ザルヘシ

第三百五十四條 配偶者アル者重子テ婚姻ヲ爲シタル時ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

重子テ婚姻ヲ爲ストハ現在妻アル男カ又ハ夫アル女ノ身ニテ二重ニ外ノ女ヲ迎ヘテ己ガ妻トナシ外ノ男ニ從テ其妻トナル仕業ヲ云フ此婚姻ハ儀式ヲ以テ世間並ノ

婚禮ヲ行フヲ謂フ現在妻アリ夫アル身分ニシテ二重ニ婚姻ヲ行フハ一夫一婦ノ法ニ背キ一家ノ騒動ヲ引起シ世間ノ風儀ヲ亂ル惡事ナレバ此仕業アリタル者ニハ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ケテ世間夫婦ノ交際ヲ堅固ニスルナリ

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪 凡七條

誣告トハ全ク無實ノ事ヲ其筋ニ申立テ他人ヲ罪ニ墮サントスルヲ謂フ誹毀トハ有ル事無キ事ヲ言ヒ觸レテ他人ノ名聞ヲ汚ガステ謂フ

第三百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百二十條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス不實ノ事トハ有リモセヌ惡事ノ義ニテ善事ヲ云フニハアラズ惡事モ罪トナル惡事ニテ罪トナラヌ惡事ヲ云フ

ニアラズ他人ニ遺恨アルガ爲メ又ハ利益ナドノ爲メニ
 何某斯様ノ罪アリ何某方ノ盜賊ハ全ク何某ノ仕業ナリ
 ナド有リモセシテ虚事ヲ以テ他人ヲ誣ヒ豫審判事カ又ハ
 檢事ナドヘ其事ヲ申立ルハ官ヲ欺キ人ヲ害スル罪人ナ
 レバ前ノ第二百二十條ニ書載セアル偽証ノ例ニ引合セ
 誣告ノ模様ニ因テ其罰ヲ異ニスルナリ即チ人ヲ重罪ニ
 誣告シタルハ二箇年以上五箇年以下ノ重禁錮十圓以上
 五十圓以下ノ罰金ヲ申付ケ人ヲ輕罪ニ誣告シタルハ六
 箇月以上二箇年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰
 金ヲ申付ケ人ヲ違警罪ニ誣告シタルハ一箇月以上三箇
 月以下ノ重禁錮二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ
 條第二百二十條ノ偽証ノ罪ハ他人ノ犯罪アルニ當リテ
 裁判官ガ吟味ノ爲メニ證人ヲ呼出シテ見聞ノ事柄ヲ尋

問スルニ其被告人ヲ陷害スル爲メニ之ニ不實ノ返答シ
 タル惡事ナレトモ此條誣告ノ罪ハ別ニ其筋ノ尋問ヲモ受
 ケヌ身ニテ己レヨリ不實ノ事ヲ申出テ人ヲ罪ニ墮サソ
 トスル惡事ナレバ彼レト此レトハ罰ニ輕重アルベキニ
 似タレド他人ヲ無實ノ罪ニ墮サントスルハ孰レモ同ク
 心底ナレバ僅カノ相違ニテ罰ノ輕重ヲ分ツヘキニアラ
 ズバ斯ク偽証ト同罰ニ行フナリ

第三百五十六條 誣告ヲ爲スト雖モ被告人ノ推問ヲ始

メサル前ニ於テ誣告者自首シタル時ハ本刑ヲ免ス
 一旦他人ニ惡事ヲ誣ヒテ之ヲ其筋ニ告ケタリモ其筋ニ
 テ、マダ被告人ノ尋問ヲ始メヌ前ニ誣告者自親ニ惡事ヲ
 悔ヒテ其旨申出タル時ハ被告人ハ、マダ實際ニ其害ヲ受
 ケズ惡名トテモ世間ニ廣マラヌ前ナレバ一旦惡事ヲ企

テタルハ情ケレ能之ヲ罰スルハ却テ被告人ノ爲メニ宜
カラヌユエ其受クモキ刑罰ヲ免シ遣ハシ自首者ノ有ル
ヤウニスル者ナリ餘ハ第二百二十六條ノ註解ト大同小
異ナレハ見合ハスベシ

第三百五十七條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタル
時ハ第二百二十一條第二百二十二條ニ記載シタル例
ニ照シテ處斷ス

此條ノ意ハ人ヲ誣告シタルニ因テ其被告ノ本人ガ早ヤ
刑ノ言渡ヲ受ケタル時ハ第二百二十一條第二百二十二
條ニ書載セアル偽證ノ爲メニ被告人ニ刑ノ言渡ヲ受ケ
サセタル者ノ罰例ニ引合セテ夫々處斷ヲ爲ストナリ此
レモ其條ヲ見合ハスベシ

第三百五十八條 惡事醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル

者ハ事實ノ有無ヲ問ハス左ノ例ニ照シテ處斷ス

本文ノ意ハ人ノ惡シキ事醜^ミクキ行ヲ摘發^アシテ世間ニ讒
ヲシ人ノ名聞ヲ汚シタル者ハ其事柄ノ有無ニ拘ハラズ
孰レモ左ノ例ニ引合セテ處斷スルトナリ其譯ハ凡ソ人
類タル者ハ誰トテ名聞善キヲ好マヌハナク平常善事ヲ
行フモ多少ハ其タメニスル者ナレバ元來無キ事ヲ有ル
ヤウニ言ヒ成シタルハ勿論假令ヒ實際有リシ事ニテモ
人々互ヒニ發^アキ合^ヒチナスノ權ナク之ヲ犯スハ其本人ノ
名聞ヲ損チ世間ノ差違^ヒレチ引起スモノナレバ其事ノ有
無ニ拘ハラズ孰レモ同罰ニ行フ者ナリ

一公然ノ演說ヲ以テ人ヲ誹毀シタル者ハ十一日以上
三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰
金ヲ附加ス

公然トハ表向多數ノ人ノ集マリ居ル場所ニテスルヲ謂フ演說會ノ本場ハ勿論街上寄席ナドニテスル類ナリ演說トハ人ニ向ツテ我が意ヲ演ヘ説クヲ謂フ表向多數ノ人ノ集マリ居ル場所ニ於テノ演說ヲ以テ何人カヲ指定シ其惡事醜行ヲ言ヒ觸ラシテ之ヲ誹毀ルハ言葉ノ上ノ仕業ユニ消エ易キコトトハ云ヘ早ヤ其聞取リタル人々ノ耳ニ留マリテ誹ラレタル本人ノ名聞ハ充分汚辱サレタルモノナレバ其事柄ノ有無ニ拘ハラズ孰レモ十一日以上三箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

二書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ作為シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

書類トハ著述本ハ勿論新聞紙、雜誌、張紙、ノ類ヲ云畫圖トハ言葉ナクテ人ニ合点ノ出來ルヤウ事ノ有様、人ノ様子ヲ繪ニカキ付ケタル品ヲ云雜劇トハ歌舞妓其外能、狂言、傀儡ノ類ヲ云偶像トハ人形類ヲ云右様ノ書類畫圖ヲ表向世間ニ出シ又ハ芝居ナドニ仕組ミテ人ノ惡事醜行ヲ世間ニ觸ラシ其名聞ヲ汚ガシタル仕業ハ前ノ言葉ノ上ノ誹毀ト違ヒ廣ク世間ニ傳ハルモ易ク又未永クモ在ルモノナレバ此仕業アリタル者ハ罰ヲ重クシ十五日以上六箇月以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第三百五十九條 死者ヲ誹毀シタル者ハ誣罔ニ出タルニ非サレハ前條ノ例ニ照シテ處斷スルコトヲ得ス
前方死シタル人ノ惡事醜行ヲ摘發シテ世間ニ觸ラシコ

レテ誹毀シタル者ハ其人ノ死後ノ名ヲ汚ガシ隨テ其子孫タル者ノ名マテモ汚シ之ニ累ヒテ推及ホス事モアレハ子孫ノ訴アル時ハ前條同様十五日以上六箇月以下ノ重禁錮五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ申付ルモノナレド實際アリタル事ヲ眞直ニ書籍ニ著ハシ又ハ言葉ニ演ヘタルチ一々捕ヘテ罰スルルハ古代ノ有様政治ノ得失ヲ知ルイモ出來ズ却テ此世ノ妨害トナルモノナレハ其誹毀ノ無キ事柄ヲ有リシヤウニ言ヒ成シタル誣罔ニ出タルニ非カレルハ前條ノ例ニ照シテ罰キスルヲ許サヌナリ

第三百六十條 醫師藥商穩婆又ハ代言人辯護人代書人若クハ神官僧侶其身分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事ニ因リ知得タル陰私ヲ漏告シタル者ハ誹毀ヲ以テ論シ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十

圓以下ノ罰金ヲ附加ス但裁判所ノ呼出ヲ受ケテ事實ヲ陳述スル者ハ此限ニ在ラス

醫師藥商人穩婆又ハ代言人、辯護人、代書人或ハ神官僧侶ガ其身分職業上ニテ他人ヨリ委託ヲ受タル事柄ニ因リテ承知シタル其人ノ陰私ナシキヲ外ノ人へ漏ラシ告ケタル者ハ誹毀ト云フヲ以テ其罪ヲ論シ十一日以上三箇月以下ノ重禁錮ニ行ヒ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ申付ル併シ裁判所ノ呼出ヲ受ケテ唯見聞ノ事實ヲ申述ルハ之ヲ罰スル限リユハ在ラヌトナリ

本文其身分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事トハ例ヘハ醫師藥商人ナソバ人ノ耻ニ思フ程ノ惡病、怪我ナドニツキテ相談ヲ受ケコソニ藥ヲ盛リ療治ナシ遣ハシタルニ他人ニ聞エテハ身ノ爲メ惡シキユエ何分内證ニ頼ムナド

口止サレタル事柄ノ類、穩婆ナレハ人ノ娘ガ密通ノ未出
 産シタル事柄ノ類、姑トモナル事ユモ内聞ニセヨト頼
 マレタル事柄ノ類、代言人辨護人代書人共ナレハ総テ人
 ヨリ頼マレタル公事訴訟ニ付我方ニ在ル證據ノ模様、辨
 論駁引ノ仕方ナド相手方ニ知レテハ不都合ノ事柄、神官
 僧侶ナレハ人ノ懺悔又ハ加持祈禱ナドノタメニ人ヨリ
 頼マレタル内證事ノ類ヲ云斯様ニ其身分職業コツキテ
 承知シタル内證事ヲ妄リニ他人ニ口外スルハ其人ノ名
 聞ヲ汚カシ損耗ヲ受ケサスル仕業ナレハ假令ヒ表向キ
 ノ演説デナクモ已デニ他人ニ漏シタル以上ハ前々條ト
 同罰ニ行フ者ナリ併シ裁判官ニテモ其事柄ヲ聞シテ
 得ヌ者トスルハ大ニ公益ノ妨ゲトモナリ又之ヲ述ブ
 ルモ公益ノタメニスル者ナレハ口ヨリ罰スヘキ道理ハ

ナキナリ

第三百六十一條 此節ニ記載シタル誹毀ノ罪ハ被害者
 又ハ死者ノ親屬ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

此第十二節中ニ書載セアル誹毀ノ罪ハ前ノ猥褻姦淫ノ
 罪ナド、同ク本人共ノ告訴ナキニ外ヨリ發キ出ス時ハ
 却テ本人共ノ耻ヲ暴ラシ損耗ヲ與フルコトモ有ルノミナ
 ラズ本人共ノ了簡ナラデハ其事ノ誹毀ナルカ左ナキカ
 ノ辨別モ着キ難ケレハ第三百五十八條并ニ第三百六十
 條ノ場合ニ有リテハ誹毀ノ害ヲ被ムリタル本人第三百
 五十九條ノ場合ニ在リテハ誹毀ヲ被ムリタル死人ノ親
 類ヨリ告訴スルヲ待テ其罪ヲ論シ告訴ナケレハ其罪ヲ
 構ハヌナリ

第十三節 祖父母父母ニ對スル罪 凡四條

祖父母父母ニ對スル罪

此節ハ子孫タル者ガ其祖父母又ハ父母ニ對シテ働キタル罪ヲ別段ニ定ムル者ナリ其譯ハ祖父母ヤ父母ハ我身ヲ養育シタル大恩アレバ人タルモノ、殊ニ大切ニスヘキ者ナルヲ之ニ向テ惡事ヲ爲スハ人倫ニ背キ世間一體ノ德義ヲ破ルモ重キユエヨ、ニ別法ヲ設ケテ一層重ク罰スル者ナリ

第三百六十二條 子孫其祖父母父母ヲ謀殺故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

其自殺ニ關スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ
常並ノ人ガ他人ヲ謀殺シタルハ死刑ニ行ヒ故殺シタルハ無期徒刑ニ行ヘル子ヤ孫ガ祖父母カ父母ヲ殺シタルハ惡逆ノ甚シキモノユエ謀殺故殺ノ差別ナク孰レモ死刑ニ行フナリ

其自殺ニ關スル罪ハ常並ノ人ノ刑ニ引合セテソレニ二段加ヘテ罰スルナリ即チ子ヤ孫ガ祖父母カ父母ニ勸メテ自殺ヲサセ又ハ自殺ニ手ヲ添ヘテ死ナセタル者ハ第三百二十條ノ罰ニ二段ヲ加ヘテ九箇月以上四箇年六箇月以下ノ重禁錮十五圓以上七十五圓以下ノ罰金ヲ申付其自殺ノ手傳シタルハ同條末文ノ刑ニ二段ヲ加ヘテ六箇月二十一日以上三箇年四箇月十四日以下ノ輕禁錮十一圓二十四錢以上五十六圓二十四錢以下ノ罰金ヲ申付自身ノ利益ヲ圖リ之ニ勸メテ自殺ヲセタルハ第三百二十一條ノ刑ニ二段ヲ加ヘテ無期徒刑ニ行フナリ

第三百六十三條 子孫其祖父母父母ニ對シ殴打創傷ノ罪其他監禁脅迫遺棄誣告誹毀ノ罪ヲ犯シタル者ハ各本條ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ加フ但癩疾

ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

此條ノ意ハ子孫タル者ガ自親ノ祖父母又ハ父母ニ向テ毆打創傷ノ罪其外監禁脅迫遺棄誣告誹毀ノ罪ヲ犯シタル者ハ第三編第二節以下ニ定メアル各本條常並ノ人ノ刑ニ照シテ孰レモ二段ツ、ヲ加ヘテ罰スルナリ併シ右ノ仕業ニ因リテ計ラズ瘖疾ニ至ラセタル者ハ有期徒刑ニ行ヒ篤疾ニ至ラセタル者ハ無期徒刑ニ行ヒ死亡ニ至ラセタル者ハ死刑ニ行フトナリ

第三百六十四條 子孫其祖父母父母ニ對シテ衣食ヲ供給セズ其他必要ナル奉養ヲ缺キタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ亦前條ノ例ニ同シ

此條ノ意ハ子孫タル者ガ其祖父母又ハ父母ニ向テ衣類食物ヲ與ヘズ其他遺錢ヲ與ヘヌナド必要ノ奉養ヲ缺キタル者ハ子孫タル役目ヲ盡サヌ罪ナレハ此レニハ十五日以上六箇月以下ノ重禁錮二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ申付若シソレガ爲メニ計ラス病氣ヅカセ又ハ死亡ニ至ラセタル者ハ亦前條ノ例ト同ク毆打創傷ノ本條ニ照シテ二段ヲ加ヘ瘖疾以上ハ前條但以下ノ刑罰ニ行フトナリ

第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタル殺傷ノ罪ハ特別ノ宥恕及ヒ不論罪ノ例ヲ用フルヲ得ス但其犯ス時知ラサル者ハ此限ニ在ラス

祖父母父母ニ向テ子孫ガ殺傷ノ罪ヲ犯スハ常並ノ人ガ

他人ニ向テ殺傷ヲ犯ス罪トハ同様ナラヌニ此レニハ
第三百九條ヨリ第三百十三條マデニ定メアル特別ノ宥
恕并ニ第三百十四條第三百十五條ニ定メアル不論罪ノ
例ヲ用ルヲ許サス併シ其殺傷ヲ犯ス時ニ相手ガ祖父母
父母ナルヲ知ラヌ者ハ此宥恕不論罪ヲ用ヒヌ限リニハ
在ラヌトナリ

第二章 財産ニ對スル罪 凡十節 五十九條

此節ハ人ノ動産不動産ヲ害スル総テノ惡事ヲ掲クルナ
リ今其節目ヲ掲クレハ竊盜ノ罪、遺失物埋藏物ニ關スル
罪、家資分散ニ關スル罪、詐欺取財及ヒ受寄財物ニ關スル
罪、贓物ニ關スル罪、放火失火ノ罪、洪水ノ罪、船舶ヲ覆没ス
ル罪及ヒ家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪ノ十
類ナリ

第一節 竊盜ノ罪 凡十二條

竊盜トハ其持主ノ覺ラヌヤウニシテ盜ムヲ云

第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ノ
罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス

凡ソ人ノ所有物ハ其勞力ノ結果ニテ之ヲ得ルニハ孰レ
モ皆支體ヲ使ヒ心志ヲ苦シメタル事ナシトシテ持主ノ許ナ
キニ竊カニ取リテ我物トナシ或ハ他人ニ與ヘ遣ハスナ
ドハ孰レモ德義ヲ破リ持主ヘ難澁ヲ掛クル仕業ナレハ
上ハ天子ノ御物ヨリ下ハ官民誰彼ノ差別ナシ苟モ我物
コアラヌ金錢衣類其外何品ニ限ラス所有ヲ害スル心ヲ
以テ竊カニ我物ニ取リタルハ之ヲ竊盜ノ罪ト爲シ金高
品高ニ付キテ區別ヲ立テズ孰レモ二箇月以上四箇年以
下ノ重禁錮ニ行フナリ右ノ如ク金高品高ノ多少ナ間ハ

又ユエ斯ノ禁錮ノ最長期ト最短期ノ間チハ廣フスルナ
リ此外竊盜ノ罪ニ付キテ以下定ムル所ロ一ニ非ス此
條ハ唯通常ノ罪ヲ定メ以下其模様場合ニ因リテ夫々其
罪ヲ定ムル者ナリ

第三百六十七條 水火震災其他ノ變ニ乘シテ竊盜ヲ犯
シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

洪水、出火、地震、天災其外變事アル時ハ人々其難ヲ免レン
クメ周章狼狽スル事ナレバ所持物ヲ守ル手當モ行届カ
ズ然ルヲ其變ニ付込ミテ人ノ所持品ヲ竊盜スルハ甚爲
シ易キ惡事ナレバ隨テ其害モ多ク且又人ノ難澁ヲ願ミ
又仕業ニテ尋常ノ竊盜ヨリハ重キユエ此レニハ六箇月
以上五箇年以下ノ重禁錮ヲ申付ルナリ

第三百六十八條 門戸牆壁ヲ踰越損壞シ若クハ鎖鑰ヲ

開キ邸宅倉庫ニ入り竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同
シ

門、戸、牆、壁、ヲ乘リ越エ切破リ或ハ關貫錠前、掛鎖ナドノ締
リアルヲ開キテ家屋敷、倉庫ニ入りテ竊盜ヲ働キタル者
ハ是亦其罪重キユエ前條同様六箇月以上五箇年以下ノ
重禁錮ニ行フナリ

第三百六十九條 二人以上共ニ前三條ノ罪ヲ犯シタル
者ハ各一等ヲ加フ

二人以上打語ラヒテ共々前三條竊盜ノ罪ヲ犯スハ一人
ニテ其事ヲ働シヨリハ働キ易ク隨テ其害モ多ク人ノ恐
レモ深キユエ孰レモ其罰一段ヲ加ヘテ捌キスルナリ

第三百七十條 兇器ヲ携帯シテ人ノ住居シタル邸宅ニ
入り竊盜ヲ犯シタル者ハ輕懲役ニ處ス

假令ヒ人ヲ殺スクメナラヌモ人ヲ殺スニ足ル程ノ兇器ヲ携ヘ人ノ住居スル家屋敷ニ入リテ竊盜ヲ働クハ人ノ恐レモ深ク又時ノ模様ニ因リテハ殺傷ニ用ヒマシトモ云ヒ難ケレバ此レハ重罪ノ惡事トシテ輕懲役ニ行フナリ

第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖モ典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ命令ニ因リ他人ノ看守シタル時之ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

典物ハ其性質ヨリ之ヲ云ハハモト自親ノ所持物ニハ相違ナケレド金ヲ借リタルガユエニ他人ヘ引渡シタルモノナレハ借リタル金ヲ其人ニ返ヘサヌ間ハ決シテ純粹ノ所持物ニ非ス又贓品其外役所ニ於テ何ニカ取調フル筋アルニ因リテ其所持物ヲ取上ゲ己デニ他人ヘ其物ノ看守ヲ申付ケタル時ハ是亦純粹ノ所持物ニ非スサレバ之

ヲ竊取シタルハ矢張竊盜ヲ以テ論シ前條ノ區別ニ依リテ夫々刑罰ヲ申付ルナリ

第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜葉其他ノ產物ヲ竊取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

田畑野原ナドニ於テ人ノ種ヘタル米麥豆類又ハ野菜菜葉其外餘テノ作物ヲ竊取スルハ元來番人稀ナル場所ノ仕事ナレハ人ノ住居ニ入りテ金錢物品ヲ竊取スルヨリモ犯シ易ク隨テ犯人モ多ク其害モ重カルヘキヤウナレバ全體穀物野菜類ハ嵩大キクシテ價賤ク況シテ田畑ナドニ生ヒタルマ、ノ品ニテハ其持廻ビニモ手數掛リ苦勞ホドニハ利益ナキヨリ世間ニ之ヲ竊取スル者多クシズ思ヒノ外其害モ少ナキ者ナリ況シテ番人モ稀ナル場所ニテ日ニ觸ル、品ヲ取ルハ彼ノ土藏ナドヲ切破リ

錠前ナドヲ捨切り塀ナドヲ乘リ越エテ内ノ品物ヲ取ル
トハ同シカラズ畢竟スルニ其犯罪モ少ナク其害モ重カ
ラヌユエ遙カニ其罰ヲ輕クシ一箇月以上一箇年以下ノ
重禁錮ニ行フナリ

第三百七十三條

山林ニ於テ竹木礦物其他ノ產物ヲ竊

取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業
ニ關スル產物ヲ竊取シタル者ハ亦前條ニ同シ

山又ハ林ニ於テ竹木、金銀銅鉄石炭切石類ノ礦物其外總テ
其土地ヨリ生スル品物ヲ竊取シ又ハ川、澤、池、沼、湖、海、ニ於
テ人ノ生^{イカ}シ養ヒタル魚、鳥、牡蠣^{カキ}類或ハ營業ニカ、ル^{クイ}蕨^イ、
選根、海苔、類ノ產物ヲ竊取スルハ其害前條ト同様ユニ是
亦一箇月以上一箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ

第三百七十四條

牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタル

者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

牧場ニ於テ人ノ牧畜シタル牛馬羊豚ナドノ獸類ヲ竊取
スルハ田畑山林ナドニ於テ產物ヲ竊取スルヨリハ重キ
ユニ此ソニハ本文ノ重禁錮ヲ申付ルナリ

第三百七十五條

此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシ

テ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

此節ニ書載セアル竊盜ノ惡事ハ至テ性ノ惡シキモノナ
レハ輕罪ヲ犯サントシテ未タ仕遂ケヌ者ト云ヘト總則
第百十二條未遂犯罪ノ例ニ引合セ相當ノ罰ヨリ一段又
ハ二段ヲ減シテ罰スルナリ

第三百七十六條

此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑

ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス
此條モ亦前條ト同趣意ヨリ出デタルモノニテ其惡事ノ

性惡シキノミナラズ實際再犯以上ノ者多キユニ輕罪ノ
罰ニ行フ者ト云ヘル本仕置ノ濟ミタル後仍ホ六箇月以
上二箇年以下ノ監視ノ仕置ニ行フナリ

第三百七十七條 祖父母父母夫妻子孫及ヒ其配偶者又
ハ同居ノ兄弟姊妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜
ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス
若シ他人共ニ犯シテ財物ヲ分テタル者ハ竊盜ヲ以テ
論ス

總則第百十五條ニ見ユタル如ク祖父母ト云フニハ高曾
祖父母外祖父母モコモリ父母ト云フニハ繼父母嫡母モ
コモリ子孫ト云フニハ庶子曾玄孫外孫モコモリ兄弟姉
妹ト云フニハ異父異母ノ兄弟姊妹モコモリ居ルナリ此
等ノ親類ハ親類中ニテモ取別ケ親シク萬事相持テニテ

立ツ者ナレバ子ノ富貴ハ親ノ富貴夫ノ貧乏ハ妻ノ貧乏
ニテ互ヒニ喜悲ヲ同ケシ苦樂ヲ分カツ間柄故ヘ父ガ子
ノ物ヲ盜ミ妻ガ夫ノ品ヲ盜ムナドノ事アルハ刑法ハ之
ヲ竊盜ノ罪トシテ罰スルコトナサヌナリ(但強盜ハ罰セ
ラル)サレド兄弟姊妹ハ夫レ程親密ノ者ニアラテハ同居
ニアラヌ時犯シタル者ハ矢張他人同様ニ罰スル者ナリ
若シ右ノ親類ヨリ外ノ人ニテソレト共々竊盜ノ罪ヲ犯
シ其盜品ヲ分ケ得タル者ハ其人ダケ竊盜ヲ以テ論シ前
數條ニ定メアル法律ニ依リテ夫々刑罰ヲ申付ルナリ唯
手傳ハカリニテ其盜品ヲ分ケ得ヌ時ハ罪ナキ仕業ノ手
傳人ナレバ因ヨリ罰スルコトハナサヌナリ

第二節 強盜ノ罪 凡七條

強盜トハ刃物ヲ持ッ持タヌニ拘ハラヌ品主ニ向テ

暴行ヲ加ヘ強キテ其品ヲ盗ムヲ云

第三百七十八條

人ヲ脅迫シ又ハ暴行ヲ加ヘテ財物ヲ

強取シタル者ハ強盜ノ罪ト爲シ輕懲役ニ處ス

人ヲ脅迫シ又ハ其人ヲ打倒シ縛リ上ルナドノ暴行ヲ加ヘテ金錢物品ヲ無理無体ニ取リタル者ハ人ノ財産ヲ害スルハカリテナシ其身體ヲモ害セテ世間ニ恐レテ與フルモ深キ罪ユエ盜ニシ品ノ多少ニ拘ハラス孰レモ強盜ノ罪トシテ重罪刑ノ輕懲役ニ行フナリ此外強盜ノ罪ニツキテ以下定ムル所ロ一二コアラバ此條ハ通常ノ罪ヲ定メ以下其模倣場合ニ因リテ夫々其罪ヲ定ムル者ナリ

第三百七十九條

強盜左ニ記載シタル情狀アル者ハ一

個毎ニ一等ヲ加フ

強盜ヲ働クモノ左ニ書載セタル様子アルモハ其様子一

廉ゴトニ罰一段ヲ加フルトナリ其加ヘ方ハ次ノ二人以上ニテ共々強盜ヲ働キタルモハ刃物ヲ持タズモ一段ヲ加ヘ一人ニテモ刃物ヲ持タルモハ一段ヲ加ヘ二人以上ニテ刃物ヲ持タルモハ之ニ二段ヲ加ヘテ罰スルモノナリ

一二人以上共ニ犯シタル時

凡ソ二人以上ニテ惡事ヲ爲スハ一人ニテ之ヲ爲スヨリハ爲シ易ク人ノ恐レモ深キ者ナリ况シテ強盜ノ事ナレハ之ヲ防クニモ防キ難ク誠ニ其害ノ多キ罪ユエ二人以上相談ノ上ニテ共々其罪ヲ犯シタル時ハ前條ノ一人ニテ犯シタル罪ヨリハ重キユエ之ニ一段ヲ加ヘテ重懲役ニ行フナリ

二兇器ヲ携帯シテ犯シタル時

刃物ヲ持テ強盜ヲ働ク時ハ人ノ恐レモ深ク其惡事モ爲シ易キユエ前條ノ刃物ヲ持タヌ罪ヨ一段ヲ加ヘ重懲役ニ行フナリ故ニ此二條ノ様子アル片ハ二段ヲ加ヘテ有期徒刑ニ行フナリ

第三百八十條 強盜人ヲ傷シタル者ハ無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

初メヨリ人ヲ殺傷スル心ハナクハ強サテ人ノ品ヲ奪ハソガタメ之ニ邪魔スル人ニ疵ヲ負ハセ又ハソレガ爲メニ死ナセタル者ハ甚罪狀重キ仕業ナレハ疵ノ輕重、人數ノ多少、刃物ノ有無又ハ我手ニテ爲シタルト同類ノ者ガ爲シタルトノ差別ナシ疵ヲ負ハセタルハ孰レモ無期徒刑ニ行ヒ死ナセタルハ孰レモ死刑ニ行フナリ

第三百八十一條 強盜婦女ヲ強姦シタル者ハ無期徒刑

ニ處ス

平常ノ強姦ハ十二歳以上ノ婦女ナレハ輕懲役、十二歳ニ滿タヌ幼女ナレハ重懲役ニ行フ者ナレハ強盜スル序テニ強姦迄働キタルハ誠ニ横着至極ノ仕業ナレハ數罪俱發ノ例ヲ用ヒス其婦女ノ老幼、人ノ妻ナルト娘ナルトニ拘ハラズ孰レモ無期徒刑ニ行フナリ

第三百八十二條 竊盜財ヲ得テ其取還ヲ拒ク爲メ臨時暴行脅迫ヲ爲シタル者ハ強盜ヲ以テ論ス

竊盜ヲ働クハ最初ヨリ人ニ暴行脅迫ヲ加フル心ハナキ者ナレハ金錢物品ヲ盜ミタル後品主ニ見咎メラレテ其品ヲ取り還ベキソントスルニ當リ之ヲ還ヘスマシトテ臨時ニ其品主ヲ打倒シ或ハ刃物ヲ以テ威スナド總テ暴行脅迫ヲ行ヒタル者ハ得ソトスル下失フマシトスルノ

強盜ノ罪

差ヒノミニテ強盜ノ仕業ト聊カ異ナル所ナケレハ前ノ
第三百七十八條以下ニ定ナル強盜ヲ以テ論シ夫々重
罪ニ仕置スルナリ

第三百八十三條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉迷セシメ其財物
ヲ盜取シタル者ハ強盜ヲ以テ論シ輕懲役ニ處ス

藥又ハ酒ノ類ヲ用ヒテ人ノ性氣ヲ失ハセ其人ノ金錢物
品ヲ盜取ルハ前ノ暴行脅迫ヲ加ヘテ人ノ身體ノ自由ヲ
奪ヒ因リテ其物ヲ盜ムト同様ナレハ此レモ強盜ヲ以テ
論シ輕懲役ニ行フナリ

第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因
テ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ
附ス

此節ニ書載セアル強盜ノ犯罪ハ孰レモ重罪ナレハ總則

ニ依リテ無論監視ヲ受クル者ナレモ減輕ニ因リテ輕罪
ノ刑ニ行ハル者ト云ヘ元來性ノ惡シキ仕業ナレハ
矢張六箇月以上二箇年以下ノ監視ノ仕置ニ行フナリ

第三節 遺失物埋藏物ニ關スル罪 凡三條

遺失物トハ人ノ取捨シタル物ヲ云埋藏物トハ人ノ
土中ニ埋メ藏シタル物ヲ云之ニ關スル罪トハ斯
樣ノ物ヲ拾ヒテ持主ニ還ヘサス又ハ役所ニ届出ヌ
惡事ヲ云元來拾ヒ上ケテモヨキ物ヲ拾ヒ上ケ持主
ニ還ヘサズ役所ニ届出ヌガタメニ犯罪トナル者ナ
レハ前ノ竊盜ノ比ニアラス故ニ別段ノ法ヲ設ケ遂
カニ其罰ヲ輕シスルナリ

第三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ
所有主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十一日

遺失物埋藏物ニ關スル罪

以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

人ノ棄ツル心ナクテ取落シタル品物金銀モ此中ニ在リ同ク海川ニ流シタル品物ヲ拾ハレ速カニ持主ニ還ヘシ若シ持主ノ誰ナルカ知レヌ時ハ役所ニ出シテ其指圖ヲ受クヘキ筋ナルニ隱匿^{カクレ}テ持主アリテモ之ヲ還ヘサズ又ハ持主ノ知レサレバトテ役所ヘモ届出デズ自儘ニ使ヒ棄ルカ左ナクハ所持シ居タラフニハ品主ハ品ヲ失ヒテ損耗ヲ蒙リ世間ノ害トナルヨ少ナカラズサレバ此仕業アリタル者ヘハ其品物ノ多少ニ拘ハラズ孰レモ本文ノ禁錮カ又ハ罰金ヲ申付ルナリ

第三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於テ埋藏ノ物品ヲ掘得テ隱匿シタル者ハ亦前條ニ同シ

耕作又ハ普請ナドノ時他人ノ持地内ニ於テ計ラズ埋藏シタル品物ヲ掘リ出シ之ヲ隠クシテ持主ヘ還ヘサズ又ハ役所ニモ届出テヌハ己ガ持物ナラヌヲ横領シタル罪人ナレバ亦前條ト同ク十一日以上三箇月以下ノ重禁錮カ又ハ三圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第三百八十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第三百七十七條ニ掲ケルル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

此節ニ書載セアル遺失物漂流物並ニ埋藏物ヲ得テ隱匿スル罪ヲ犯シタル者ガ第七十七條ニ掲ゲアル祖父母父母夫妻子孫並ニ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姉妹ナドノ親類ニカ、ル時ハ互ヒノ竊盜サヘモ罰サヌ程ニ無論其罪ヲ構ハヌナリ

第四節 家資分散ニ關スル罪 凡二條

家資分散トハ借財ノ返辨ガ出來ヌニ因リテ我家産ノ有丈ヲ夫々貸方ヘ分配スル身代限ノ處分ヲ云之ニ關スル罪トハ所持ノ家産ヲ推隱シ其外虛偽ノ仕方ヲ以テ貸方ヘ損耗ヲ掛クルヲ云唯約束ノ期日迄ニ返辨スルコトノ出來ヌノミノ仕業ナレハ固ヨリ刑法ニ觸ル、所ハナキ者ナレハ愈ヨ返辨ノ出來ヌニ因リテ其筋ノ處分ヲ蒙リ異議ナク貸方ヘ渡スヘキ品ヲ渡サズ官ヲ欺キ人ヲ害スルハ世間貸借ノ義理ニ背キ融通ノ道ヲ害スル仕業ナレハ刑法固ヨリ其罪ヲ見道ガヌベカラズ故ニ此節ニ罪ヲ定メテ世間ノ貸方ヲ保護スルナリ

第三百八十八條 家資分散ノ際其財産ヲ藏匿脱漏シ又

ハ虛偽ノ負債ヲ増加シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處ス
情ヲ知テ虛偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

凡ソ家産ノ分配ヲナス時ハ職業ノ道具、必用ノ家具並ニ其衣類ヲ除ク外ハ殘ラズ裁判所ヘ引渡シ裁判所ニテ夫々貸方ニ分配ナスベキ言渡アルモノナルニ其財産ヲ藏シテ出サス或ハ取除ケテ他所ヘ脱漏シ或ハ内實借リシコトモナキ虛偽ノ借財ヲ増シテ貸方ノ分配高ヲ減ラシ道ヲテヌ利益ヲ得ントシタル者ハ官ヲ欺キ人ニ損耗カシル罪人ナレハ此レニハ二箇月以上四箇年以下ノ重禁錮ヲ申付ルナリ
右惡事ノ實情ヲ知リツ、虛偽ノ約定ヲ承諾シテ内實貸

シタル事モナキ金銭ノ貸主トナリテ分散人ノタメ裁判所ニ出訴シ相當ノ分配ヲ受ケテ後日ニ至リ之ヲ分散人ニ還スナド分散人ノ惡事ヲ助ケテ官ヲ欺キ他人ニ損耗ヲカクル者或ハ其虛偽ノ約定ヲ爲スニツキ仲人トナリテ媒介ヲ爲シタル者ハ前ノ分散人ノ惡事ヨリハ輕キヨモ一段ヲ減ラシ一箇月十五日以上三箇年以下ノ重禁錮ヲ申付ルナリ

第三百八十九條 家資分散ノ際帳簿ノ類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス
家資分散ノ時返辨ヲ免カレシメ帳面額ヲ推隱シ又ハ毀リ棄テ、金銭ノ出入計算表トシテ分ラヌヤウニ仕成シ

或ハ家資分配ノ事ガ裁判ニテ極マリマテ貸方ニ引渡シ又中貸方中ノ一人又ハ數人ニ内々借財ヲ返シテ家産ノ有高チ減ラシ外ノ貸方ノ取前チ少ナクシテ之ニ損耗チ掛ケタル者ハ是亦官ヲ欺キ人ヲ害スル仕業ナレハ前條ノ直カニ家産ヲ推隱シ又ハ偽リノ借財ヲ拵ラニルヨリハ輕キユニ處カニ其罰ヲ輕クシ一箇月以上二箇年以下ノ重禁錮ニ行フナリ

第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪 凡八條
詐欺取財ノ罪トハ人ヲダマシ又ハオドシテ其財物ヲ取ル惡事ヲ云受寄財物ニ關スル罪トハ人ノ寄セ越シタルチ預カル財物ニカ、ル惡事ト云ノ義ニテ預リ物ヲ使ヒ棄テタル仕業ヲ云

第三百九十條 人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ財物若クハ證

詐欺取財ノ罪及ヒ受寄財物ニ關スル罪

書類ヲ騙取シタル者ハ詐欺受財ノ罪ト爲シ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ官私ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シテ金錢衣類其外總テノ財物或ハ貸借取引ナドノ證文類ヲ騙シ取ルハ前ノ竊盜ノ仕業ト違ヒ言葉又ハ書面ヲ以テ一旦其人ノ承知ヲ得タル上ノ仕業ナレバ若シ其人ガ胡亂ニ思ヒウカト方略ニ乘ラヌ時ハ夫迄ノ事ニテ人々相應ノ用心モアレハ竊盜ガ夜分人ノ熟睡シタルニ付込ミテ仕事ヲナスホドニハ爲シ易カラズサルカラニ竊盜ヨリハ犯人モ少ナク之ヲ防グニモ防ギ易キユニ罰モソレ相當ニ輕カルベキ様ナレド一

概左ノミハ云ベカラヌ道ニ因リテハ如何ナル智者ト云ヘド欺クヘク又人ノ面前ヲモ憚カラスニスル仕業ナレハ其心底ハ却テ竊盜ヨリ憎ク、畢竟ナルニ竊盜ノ下ニ置カレヌ惡事ナレハ實決ノ仕置ハ竊盜ト同ク二箇月以上四箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ仍ホ其外ニ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ中付ルナリ

右騙取ノ仕業スルタメ役所或ハ人ノ手紙書付類ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ第二百二條以下ノ偽造ノ箇條ニ引合セテ孰レカ重キ方ニ捌キスルナリ

第三百九十一條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯亂シタルニ乘シテ其財物若クハ證書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

幼者トハ此條ニテハ二十歳ニ滿タヌ者ヲ云人マダ二十

歳トナラヌ間ハ大概知慧分別モ淺薄ナル者ナルチ之ニ付込ニ又ハ幼者ニアラヌモ癡癩痴呆カ或ハ熟醉病苦ナドノタメニ精神ヲ亂シタルニ付込ニ其財物或ハ證書類ヲ我手ニ渡サセタルハ矢張詐欺取財ト同様ノ任業ナレバ亦前條ノ罪ヲ以テ論スルナリ

第三百九十二條 物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

品物ヲ賣捌キ又ハ外ノ品物ト引換ルニ當リ其品物ノ質ヲ變ヘテ價物ヲ渡シ或ハ價物ニアラヌモ分量ヲ減シテ之ヲ人ニ渡シタル者ハ矢張詐欺取財ヲ以テ論シ前々條ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ

第三百九十三條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交

換シ又ハ抵當典物ト爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

自己ノ不動産ト雖モ已ニ抵當典物ト爲シタルヲ欺隠シテ他人ニ賣與シ又ハ重子ヲ抵當典物ト爲シタル者亦同シ

冒認トハ我所持ニアラヌ物ヲ我物トスルヲ云人ノ動産不動産ヲ我物トシテ賣捌キ或ハ外ノ品物ト引換又ハ之ヲ抵當典物トシテ外ノ人ヨリ金錢物品ナドヲ取リタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論シ第三百九十條ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ

自身ガ所持ノ不動産ト云ヘレ已デニ抵當典物トナシタルヲ欺キ隠シテ外ノ人ニ賣リ與ヘ又ハ二重ニ外ノ人ニ抵當典物ニ差入レタル者ハ同ク詐欺取財ヲ以テ論シ

第三百九十條ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ

第三百九十四條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス

前數條詐欺取財ノ罪ハ性惡ニキ仕業ニ付本仕置ノ濟ミタル後仍ホ本文ノ監視ノ仕置ニ行フナリ

第三百九十五條 受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル金額物件ヲ費消シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ騙取拐帶其他詐偽ノ所爲アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

受寄ノ財物トハ人ヨリ其儘預カリ與レヨトテ寄セ越シタルヲ預カリ置シ金錢衣類其外總テ價直アル物ヲ云借用物トハ金錢食物ナドノ如ク初メヨリ費消ノ用途ニ因リテ貸借シタルモノニテハナク在リノ儘ニテ使ヒ用ル

約束ヲ以テ人ヨリ借受ケタル品物ヲ云典物トハ人ヨリ買ニ取リタル品物ヲ云斯様ニ信任又ハ約束ヲ以テ人ヨリ預ケラレタル物其外何ニ限ラス人ヨリ預カリ借受ケタル金員品物ヲ費ヤシ消スルハ人ノ信任約束ニ背キテ其財産ヲ損害スル仕業ナレバ一箇月以上二箇年以下ノ重禁錮ニ行ヒ若シ第三百九十條ノ仕業ノ如クニ人ヲ欺キ又ハ威シテ右ノ財物ヲ騙シ取リ又ハ拐帶其外總テ詐欺ノ仕業ニ因リテ其品ヲ取リタル者ハ唯預リ品ヲ費消シタルトハ違フユエ此レハ詐欺取財ヲ以テ論シ第三百九十條ノ二箇月以上四箇年以下ノ重禁錮四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第三百九十六條 自己ノ所有ニ係ルト雖モ官署ヨリ差押ヘタル物件ヲ藏匿脱漏シタル者ハ一月以上六月以

下ノ重禁錮ニ處ス但家資分散ノ際此罪ヲ犯シタル者
ハ第三百八十八條ノ例ニ照シテ處斷ス

自親ガ所持ノモノト云ヘモ何ニカ取調筋アルガタメ又
ハ税金不納ノタメナドニテ役所ヨリ差押ヘラレタル品
物ノ尙ホ其者ノ手ニ在ルル共品物ヲ取隠シ或ハ取除ケ
テ外ヘ脱漏スハ一時差止メラル、所持ノ權利ヲ行フマ
ル上官ノ處分ニ妨害ヲ與ヘ或ハ之ニ損耗ヲモ掛クル仕
業ナレハ此レニハ一箇月以上六箇月以下ノ重禁錮ヲ申
付ルナリ併シ家資分散ノ時ニ當リテ此種脱漏ノ犯罪
ヲ爲シタル者ハ第三百八十八條ニ其刑罰ノ定メアリテ
遙カニ此條ヨリハ重キニ當サニ之ニ引合セテ罰キス
ヘシトナリ

第三百九十七條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯サントシテ

未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

此節ニ書載セアル詐欺取財、受寄財物ニ關スル罪ハ孰レ
モ性惡シキ仕業ナレハ未ダ仕遂ケヌ者ト云ヘモ矢張總
則ニ定メアル未遂犯罪ノ例ニ依リ一段又ハ二段ヲ減シ
テ罰スルナリ

第三百九十八條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者第

三百七十七條ニ掲ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

此節ニ書載セアル罪ヲ犯シタル者カ第三百七十七條ニ
掲ケアル祖父母、父母、夫妻、子孫並ニ其配偶者又ハ同居ノ
兄弟姉妹ニ係ル時ハ其罪ヲ構ハヌナリ委細ハ其條ニ詳
カナレハ就ヒテ看ルヘシ

第六節 贓物ニ關スル罪 凡三條

贓物トハ罪アル財物ノ義ニテ強盜竊盜詐欺取財賄

賂並ニ遺失物ヲ拾ヒ得テ隱匿シ或ハ家資分散ノ際
藏匿脱漏シタル物ヲ云之ニ關スル罪トハ斯様ノ不
正品ト云チ知リテ貰受ケ、買取リ、預リ、又ハ其品ノ請
入トナル類チ云

第三百九十九條 強竊盜ノ贓物ナルヲ知テ之ヲ受ケ
又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シタル者ハ一月以上
三年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金
ヲ附加ス

強盜竊盜ヲ働キテ盜取リタル財物ハ孰レモ法ヲ犯シ人
チ若シメタル不正物ナレハ其物ノ在リ所ヲ知ラハ直ニ
其筋へ訴へ出ルガ相當ノ事ナルベキニ左ハナク之ヲ受
取リ又ハ預リテ藏クシ遺ハシ、低價ヲドノタメニ故ト買
取リ或ハ盜人が其品ヲ人ニ預ケ賣捌ナドスル時牙保ト

ナリタル者ハ人ノ惡事ヲ助ケ又ハ道ヲラヌ利益ヲ得ン
トスル罪人ニテ大ニ盜賊ニ便利ヲ與ヘ官ノ深索ヲ妨ゲ
人ノ難繼ヲ利トスルモノナレバ此レニハ一箇月以上三
箇年以下ノ重禁錮三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ申付ル
ナリ

第四百條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下
ノ監視ニ附ス

前條ノ犯罪ハ盜賊ニ便利ヲ與ヘ官ノ探索ヲ妨ゲ人ノ難
繼ヲ利トスル性惡キ仕業ナレハ再犯豫防ノタメ監視ノ
仕置ニ行フナリ

第四百一條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ關シタル物件ナル
ヲ知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若クハ牙保ヲ爲シ
タル者ハ十一日以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以

上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

詐欺取財其外賄賂、隱匿ノ遺失物、家資分散ノ際、隱匿脱漏シタル財産、ナド總テ犯罪ニ因リテ取得タル財物ナルヲ知リテ之ヲ受ケ又ハ寄附故買シ或ハ牙保トナリタルハ前條ノ犯罪ヨリハ輕キユエ此レニハ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ルナリ

第七節 放火失火ノ罪 凡九條

放火トハ附火スルヲ云失火トハ手過ナコテ火事ヲ起スヲ云遺恨又ハ利慾ナドノ爲メニ人ノ家屋物件又ハ自宅ニ附火ヲナシ並ニ疎忽ニ因リテ火事ヲ起シ人ノ家屋財産ヲ燒キタル罪ナ此節ニ掲クルナリ
第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シタル家屋ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

人ノ住居シタル家屋トハ人ノ朝夕寢起スル居宅其外現在人ノ集リ居ル家屋ヲ云故ニ官民ノ差別ハナキナリサレモ神社、佛堂、劇場、興行場ノ如ク晝間ノミ人ノ住居スルモノアリテ夜分ハ一人モ住居セヌ家屋ナルハ晝間ハ人ノ住居シタル家屋ヲ以テ論スレモ夜分ハ次條ノ人ノ住居セヌ家屋ヲ以テ論スル者ナリ又附火スル時圖ラス其家屋内ニ人アリタリモ元來人ノ住居スル家屋ナラヌ納屋、物置ノ類ナルハ矢張人ノ住居セヌ家屋ヲ以テ論セラルヘキナリ燒燬トハ或一部分ヲ燒キタルモノニ非ス屋根上マデモ燃ヘ拔ル程ノ火事ヲ云人ノ住居シタル家屋ヲ燒クハ財産ヲ害スルヲ多ク人ヲ騒ガシ人ノ生命ヲモ危ウクスル大惡ナレバ燒キタル家數ノ多少、人ヲ燒殺スト殺サヌニ拘ハラズ孰レモ死刑ニ行フナリサレ

未だ燒毀ニ至ラテハ未遂犯罪ト云フヲ以テ無期徒刑
カ有期徒刑ニ行ハル、ナリ

第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造
物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

人ノ住居セサル家屋トハ茶店、別荘、離亭ノ如キ平日人ノ
住マヌ家屋ヲ云其餘ハ前條ノ註解ニ見合スヘシ其他ノ
建造物トハ土藏、納屋、ノ類ヲ云人ノ平常住居セヌ家屋建造
物ヲ燒シハ唯財産ヲ害スル迄コテ人ノ身體ヲ危ウクス
任業ヲラテハ死刑ニハ行ハスシテ無期徒刑ニ行フナリ
元來附火ノ惡事ハ犯人ガ附火スル時ノ心底ヲ推測リ其
罪ヲ定ムル法ニテ人ノ住居スル家屋ニ直カニ附火シタ
ル時ハ固ヨリ前條ノ罪ト定メ人ノ住居セヌ家屋ニ附火
シテ近隣ノ人ノ住居スル家屋ヲ類燒スルモ最初附火ス

ルキハ人ノ家屋ヲ燒ク心底ニハ非ストシテ其罪ヲ定ム
ルモノユエ此條ノ犯罪ニ因リテ前條ノ成債ニ移ルモ前
條ニ依リテハ罰セヌ矢張此條ノ無期徒刑ヲ申付ルナリ

第四百四條 火ヲ放テ廢屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル屋
舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス

廢屋トハ人ノ住居ノナラヌ荒レ屋ヲ云火ヲ附ケテ廢屋
并ニ柴草、肥料シバクサ、コヤシナトナ、カコヒナク所ノ小屋ヲ燒キタルハ
人ノ生命ニモ危害ナク其財産ヲ害スルコトモ多カラテハ
其罪ヲ輕クシ重懲役ニ行フナリ

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乗載シタル船舶汽車ヲ燒燬
シタル者ハ死刑ニ處ス

其人ヲ乗載セサル船舶汽車ニ係ル時ハ重懲役ニ處ス
人ヲ乗載タル船舶汽車ハ多少財産モ積載セアレハ人ノ

住居シタル家屋ニ異ナルコトナシ殊ニ船舶ヲ燒カル、時
ハ水ノ上ノ災難ナレバ逃ケ出ルニモ其場所ナシ火ニ死
ナテハ水ニ死スルコト至ルコト多カルベシ瀛車トテモ走ル
コトノ疾キモノナレハ容易ニ逃出ルコトモ叶ハス況シテ船
車共ニ平常ノ人家ヨリハ多人數集リ居ルコトユエ之ヲ燒
クハ却テ人家ヲ燒クヨリモ重キ者ナリ故ニ人家ヲ燒ク
ト同ク死刑ニ行フナリ
サレバ人ヲ載セ又船舶瀛車ナルモノハ囚ヨリ人命ニハ危
害ナク又財産ヲ害スルコトモ前ノ土藏ヤ別荘ナドヲ燒ク
ヨリハ少キユエ前條ノ廢屋ヲ燒クモノ、鈎合ヲ取り重
懲役ニ行フナリ

第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野ノ穀麥又ハ露積
シタル柴草竹木其他ノ物件ヲ燒燬シタル者ハ輕懲役

ニ處ス

火ヲ附ケテ山林ノ竹木類、田畑ノ米麥類又ハ伐リ採リテ
野積ミシタル柴草竹木其外石炭ナドノ物件ヲ燒キタル
ハ小屋ナドニ貯ヘアルヲ燒クヨリハ輕キユエ其罪ヲ輕
クシ輕懲役ニ行フナリ

第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ二
月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

火ヲ附ケテ自親ガ所持ノ家屋ヲ燒クハ人ノ生命財産ニ
危害ヲ與フル爲メニアラテハ罪モ無カルヘキ様ナレバ
人ヲ騒ガセタルガ上ニ他人ノ家ヲモ類燒スルコト多ク隨
テ人ノ財産ヲ害シ人ノ生命ヲモ危クスル仕業ナレハ類
燒ノ有無ニ拘ハラズ二箇月以上二箇年以下ノ重禁錮ニ
行フナリサレバ自親ガ所持ノ家屋ニテモ人ニ貸貸シタ

ル家屋ナルハ人ノ家屋ト云テ以テ論セラレヘシ

第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

附火ノ罪ハ元來性惡シキ仕業ナレハ前條ノ輕罪并ニ減輕ニ因リテ輕罪ニ行ハル、者ト云ヘル再犯豫防ノ爲メトシテ六箇月以上二箇年以下ノ監視ノ仕置ニ付スルナリ

第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財産ヲ燒燬シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

手過チニテ自親ノ持家ヲ燒キタルハ唯人ヲ騷ガセタル迄ナレバ刑法ハ其罪ヲ問フコトナケレド人ノ家屋財産ヲ燒キタルハ心ナキ越度トハ云ヘ之ニ損害ヲ與フルコト重ク其生命ヘモ危險ヲ與フル仕業ナレハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ申付ルナリ

第四百十條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人ノ家屋財産ヲ毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トナ分テ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

激發ス可キ物品トハ地雷火ノ類ヲ云煤氣井トハ瓦斯ノ溜釜ヲ云毀壞トハ毀テ壞ブルノミニテ之ヲ燒クニアラヌヲ云人ノ家屋財産ヲ燒ク仕業ニ非ス凡火藥其外激發スヘキ地雷火類ノ品物又ハ瓦斯ノ溜釜蒸氣罐ヲ破裂サセテ之ヲ毀テ壞リタルハ人ノ財産ヲ害シ其生命ヲ危クスルコト放火失火ト同様ナレバ故意破裂サセタルト手過チトヲ區別シ故意ナレバ放火ノ例ニ引合セ手過チナレバ失火ノ例ニ引合セテ罰キスルナリ

第八節 決水ノ罪 凡三條

決水トハ水ヲ切流スヲ云惡意ヲ以テ堤防ヲ切流シ
又ハ水門ヲドテ壞リテ水ヲ流シ損害ヲ與フル罪ヲ
此節ニ揭クルナリ

第四百十一條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ人ノ
住居シタル家屋ヲ漂流シタル者ハ無期徒刑ニ處ス
若シ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ漂流シタル
者ハ重懲役ニ處ス

堤防ヲ決潰シ又ハ水門ヲ壞リテ人ノ住居スル家屋ヲ流
ガスハ殆ント之ニ火ヲ附ケテ燒クト同ク之ヲ避クルニ
ハ却テ火ヨリモ避ケ難キ者ナリサレバ家屋ヲ流スホド
ニ至ラセンニハ一人二人ノ力ニテハ覺束ナク又其場所
ヲモ撰マサルヘカラス彼ノ附火ノ如ク一人ニテ到ル所
ニ行ヒ得ルモノニアラテハ隨テ犯ス人モ少ナク人ノ恐

レモ深カラヌナリ故ニ附火ノ罪ヨリハ其罰ヲ輕クシ其
心底ノ如何ナルヲ問ハス就レモ無期徒刑ニ行フナリ
若シ人ノ住居セヌ家屋其外ノ建物ナル時ハ之ヲ流ガス
モ人命ヲ害スルノ恐レナケレハ罰二段ヲ輕クシ重懲役
ニ行フナリ

第四百十二條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田圃礦坑
牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ處ス

田圃礦坑牧場ナドハ人ノ家屋ヨリハ輕キユニ水ヲ流ガ
シテ之ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ行フナリ

第四百十三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖
ル爲メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シ
タル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上
二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

此條ハ遺恨ナドノ爲メニ人ノ利益ヲ妨ケ又ハ利益ノ爲メニ已レノ田ニ水ヲ引キ其外人ノ水利ヲ害シ未ダ田畑ナドヲ荒ラス程ニ至ラズ罪ユエ之ヲ輕罪トシタル者ナリ

第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照シテ處斷ス

水害ハ其及フ所口廣キモノユエ過失ト云ヘレ罰ヲ加ヘ失火ノ例ニ引合セテ擲キスルナリ

第九節 船舶ヲ覆没スル罪 凡二條

此節ハ衝突其外ノ仕業ニ因リテ故意人ノ小船大船ヲ覆没サスル罪ヲ掲クナリ

第四百十五條 衝突其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載シタル船舶ヲ覆没シタル者ハ死刑ニ處ス但船中死亡ナキ時

ハ無期徒刑ニ處ス

衝突トハ外ノ船又ハ岩石ナドニ衝キ當ラセルヲ云其他ノ所爲トハ船底ニ穴ヲ穿ツ類ヲ云人ヲ乘載シタル船舶トハ自親ノ持船ト他人ノ持船トノ差別ナク総テ人ヲ載セタル小船大船ヲ云人ヲ載セタル船舶ヲ故意覆没サスルハ人ノ生命財産ヲ害スルコトノ重大ナルユエ死刑ニ行ヒ船舶中ニ死亡人ナキ時ハ無期徒刑ニ行フナリ

第四百十六條 前條ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載セサル船舶ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス

人ヲ載セヌ船ハ輕シ故ニ輕懲役ニ行フナリ

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ動植物ヲ害スル罪 凡八條

動植物トハ牛馬羊豚類ノ動物、米穀、竹木類ノ植物ヲ

云人ノ家屋、建造物、器物、書類、並ニ動物植物ヲ害スル罪ヲ此節ニ掲クルナリ

第四百十七條

人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

官民ノ差別ナク總テ人ノ家屋其外土藏納屋神社佛閣學校病院ナド總テ建物ヲ遺恨ナドノ爲メ故意打毀ハシタル者ハ本文ノ禁錮罰金ヲ申付ケ因テ計ラズ人ヲ死傷ニ至ラセタル者ハ毆打創傷ノ箇條ニ引合セテ孰レカ重キ方ニ擲キスルナリ

第四百十八條 人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ園地ノ裝飾

又ハ田圃ノ樊圍牧場ノ柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

牆壁トハ門戶板圍ナドヲモコメテ云園池ノ裝飾トハ燈籠、垣籬、架橋ナドヲ云人ノ家屋ニ附キタル牆壁、園池ノ裝飾又ハ田圃ノ樊圍、牧場ノ柵欄ヲ毀ハシタルハ前條ノ罪ヨリハ輕キユニ此レコトハ本文ノ禁錮カ又ハ罰金ヲ申付ルナリ

第四百十九條

人ノ稼穡竹木其他需用ノ植物ヲ毀損シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

稼穡トハ米麥粟豆類ノ食用ニ供ユル植物ヲ云需用ノ植物トハ野菜菓物類ヲ云此條ノ毀損ハ前條ノ毀壞ヨリハ

重キニ其罰ヲ重クスルナリ併シ路上ノ植木ヲ毀損シタル類ハ違警罪ニ正條アレハソレニ依リテ罰スルナリ
第四百二十條 土地ノ經界ヲ表シタル物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

此條ハ土地ノ經界^{キウキ}ヲ表シタル立石棒杭ナドヲ打毀ハシ又ハ外ノ場所ヘ移シテ經界ノ見分ケ難キヤウニシタル罪ヲ揭クルナリ

第四百二十一條 人ノ器物ヲ毀棄シタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

此條ハ故意人ノ器物ヲ破損シテ用ニ立タヌヤウニシタル罪ヲ揭クルナリ

第四百二十二條 人ノ牛馬ヲ殺シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

此條ハ人ノ牛馬ガ咬ミ掛カリタルチ己ヲ得ズ殺シタル任業ニテハナク人ニ遺恨ヲ報ユルタメナドニテ之ヲ殺害シタル罪ヲ揭クルナリ

第四百二十三條 前條ニ記載シタル以外ノ家畜ヲ殺シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

此條ハ前條ニ記載シタル以外ノ家畜即チ羊豚雞犬猫兔ナド總テ家ニ養ヒタル畜類ヲ殺シタル罪ヲ揭クルナリ被害者ノ告訴ヲ待ツ譯ハ其罪ノ輕キガ故ナリ

第四百二十四條 人ノ權利義務ニ關スル證書類ヲ毀棄

減盡シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

此條ハ人ノ貸借其外權利カ義務ニカ、ル證書類ヲ破リ棄テ、減盡^{オクナシ}タル罪ヲ掲クルナリ

第四編 違警罪 凡六條

此編ハ懈怠疎忽等ニ因テ諸取締ノ規則ニ背キタル違警犯罪ヲ掲ル部ニテ中ニハ公益ニ關スル者アリ私益ニ關スル者アリ又身體及ヒ財産ニ關スルモノモアレハ此罪元來ハ輕微ノ惡事ナルガ故ニ前ノ重罪輕罪ノ如ク其區別ノ設ケヲ要セス之ヲ設クルキハ却テ混雜ノ憂アレハ此憂ヲ避ケンガ爲メニ前二編ノ重罪輕罪ノ例ヲ用ヒス唯其惡事ノ輕重ニ因リ懲罰ニ數等ノ區別ヲナス迄ニテ總テ之ヲ一編中ニ集ムルナリ且此罪ハ各地ノ風俗慣習

ニ因テ大ニ取捨スベキ者ナルガ故ニ此刑法上ニハ一般通用ニ支ヘナキ者ノミヲ掲ケ餘ハ地方ノ模様ニ因リ別ニ其規則ヲ定ムルヲ許ス者ナリ
此罪ノ懲罰ニ用フル刑ハ拘留科料ノ二種ニ止リ拘留ハ三日以上十日以下、三日以上五日以下、一日以上三日以下、并ニ一日ノ四種ニ分レ科料ハ一圓以上一圓九十五錢以下、五十錢以上一圓五十錢以下、二十錢以上一圓二十五錢以下、十錢以上一圓以下、五錢以上五十錢以下、ノ五種ニ分レリ而シテ此刑ノ施用方ハ罪ノ模様犯人ノ貧富等ニ因リ裁判官ノ見込ヲ以テ孰レカ其一方ヲ用フル者ニテ拘留科料ヲ併セ科スルハ許サヌナリ是レハ前ニモ説キシ如ク違警罪ハ至テ輕微ノ惡事ナルガ故ニ之ヲ併セ科スルハ少ク苛酷ナリトスルガ故ナリ此外違警罪ニ關シ

テ特別ノ例ヲ舉クシハ第八十三條ノ滿十六歲以上二十
 歳ニ滿タヌ者モ宥恕セズ滿十二歲以上十六歳ニ滿タヌ
 者ハ本刑三等ノ宥恕ヲ與ヘ十二歳未滿ノ者并ニ瘡痍者
 ハ全ク其罪ヲ構ハヌコト、第九十三條ノ再犯ノ特例、第一百
 條ノ違警罪ニ罪以上俱ニ發シタル時ハ各其刑ヲ科シ重
 罪輕罪ト俱ニ發シタル時ハ一ノ重キニ從フコト、第一百五條
 ニ據レハ其教唆者ヲ正犯トセザルコト、第九條ニ據レハ
 違警罪ニ從犯ナキコト、第一百十三條ニ據レハ違警罪ノ未遂
 犯ハ罰セサルコト等ノ數種アリ餘ハ尙總則中ニ就ヒテ見
 ルヘシ

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上十
 日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上二圓九十五錢以下
 ノ科料ニ處ス

左ニ記ルシタル十四件ノ仕業ハ此違警罪ノ中ニテハ最
 モ害多キ犯罪ナレバ此仕業アリタル者ハ三日以上十日
 以下ノ拘留ニ行フカ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ
 科料ヲ申付ルナリ

一規則ヲ遵守セズシテ火藥其他破裂ス可キ物品ヲ市
 街ニ運搬シタル者

規則ヲ遵守セストハ火藥其外破裂スヘキ品物ノ危害ヲ
 防グタメ豫テ取扱方ヲ示メシタル規則ヲ守ラズ火藥
 ナ持運ブコトハ火藥ト記シタル旗ヲ立ツベキニ立テヌ類
 ナ云破裂ス可キ物品トハ地雷火、破裂彈、氣發油ノ類ヲ云
 斯標ノ品ノ危害ヲ防グタメ、カチテ設ケ置カル、規則ニ
 背キテ之ヲ市街ニ持テ運ビタル者ハ罪トナルナリ併シ
 其規則ナク又之レアリテモ市街ニアラス場所ニ運ビタ

ルハ此本文ノ罪トハナラヌナリ

二規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品又ハ自ラ火ヲ發ス可キ物品ヲ貯藏シタル者

自カラ火ヲ發ス可キ物品トハ石灰ノ如ク人手ヲ借ラヌモ自然ニ火氣ヲオコス品ヲ云火藥其外氣發油石灰類ヲ規則ニ背キテ貯藏ナシモノハ出火ナドノ憂ヘアレハ罪トナルナリ併シ是亦規則ナケレハ罪トハナラヌナリ

三官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者

烟火モ出火ノ恐レアレハ製造賣捌トモ官ノ免許ヲ得テハ罪トナルナリ

四人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火器ヲ玩ヒタル者

人ノ住居スルト住居セヌトノ差別ナク總テ人家ノ込合

ヒタル場所ニテ濫リニ烟火ヲ揚ケ其外土中ニ火藥ヲ埋メテ地雷火ヲ試シ竹筒ニ火藥ヲ込メテ鐵砲ウツ真似ヲナスナド總テ火器ヲ持テ扱ヒタル者ハ罪トナルナリ
五蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及ヒ掃除スル規則ニ違背シタル者

蒸氣ヲ用ル器械其外烟筒火竈ヲ造リ立修葺シ并ニ掃除スル規則ニ背クハ出火ノ憂ヘトナルユエ罪トナルナリ併シ其規則ナケレハ罪トナラヌナリ

六官署ノ督促ヲ受ケテ崩壞セントスル家屋牆壁ノ修理ヲ爲サレル者

家屋敷牆壁ナド崩レ落チントスルハ其持主ニ於テ修葺ヲ加ヘ怪我人ノナキヤウスルガ當然ナレトモ之ヲ修葺セヌモ役所ノ催促ナキ間ハ罪トナラズ若シ其催促ヲ受

ケテモ聞入レヌ仍ホ其儘ニ爲_レ置_ルハ罪トナルナリ
七官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル者

官ノ免許ヲ受ケズニ人ノ死骸ヲ解剖スルモノハ罪トナルナリ死骸トテモ濫_リコ切_リ割_クハ良カラヌ事ニエ期_ク其罪ヲ定ムルナリ

八自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知テ官署ニ申告セ
ス又ハ他所ニ移シタル者

死屍トハ行倒_レ首_縫リ自殺其外變死ナドノ死骸ヲ云斯_ノ死骸アル_ルハ警察ノ役人ガ至急ニ檢視スベキモノナレバ自親ノ持地内ニ之_レアル時ハ死骸ハ其儘ニシテ速カニ警察署へ届出_{ベシ}若シ其事ヲ届出_テズ又ハ届出_テモ死骸ヲ外ノ場所へ移_シテ元ノ様子ヲナクシタル者ハ檢視ノ害トナル仕業ナ_レハ罪トナルナリ

九人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル者

人ヲ打擲シテ疵ヲ負_ハセ病氣ニ至ラセタル者ハ第三百一條ノ罪トナ_レヒ唯打擲シタルノミニテ疵モ負_ハセズ病氣ニモ至ラセヌモノハ此違警罪ノ惡事トナスナリ

十密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒合容止ヲ爲シタル者

官ノ免許ヲ受ケ表向娼妓トナ_リテ賣淫ヲナスハ罪ナク_レモ免許ヲ受ケズ密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ人ノ賣淫スル媒_合容止ヲ爲シタル者ハ罪トナルナリ

十一人ノ住居セサル家屋内ニ潛伏シタル者

人ノ住居セヌ家屋敷ニ潛伏_カタルモノハ晝夜ノ差別ナク皆罪トナルナリ併シ人ノ住居シタル邸宅又ハ人ノ看守_シタル建物ニ故ナク入りタルハ第七十一條第七十二條ノ罪トナルナリ

十三 定リタル住居ナク平常營生ノ産業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者

此レト定マリタル住居モナク又平常營生ノ産業モナクテ諸所方々ニ徘徊クモノハ風俗ヲ亂メリ且盜ミチナスノ恐アレハ罪トナルナリ

十三 官許ノ墓地外ニ私ニ於テ埋葬シタル者

カチテ官ノ免許アル墓地外ニ私ニ人ノ死骸ヲ埋葬スルハ人ノ壯健ニ害アル仕業ナレハ罪トナルナリ

十四 違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者但被告ノ例ニ從フ

違警罪ヲ犯シテ其筋ノ調ベテ受グル人ヲ曲庇タメ偽リノ證據ヲ申述ヘタル者ハ罪トナルナリ併ニ其被告人ガ

偽リノ證據ノタメニ刑罰ヲ免カレタル時ハ第二百十九條ノ例ニ依リテ一段ヲ加ヘ三日以上十二日以下ノ拘留カ又ハ一圓二十五錢以上二圓四十錢以下ノ科料ヲ申付ルナリ其罪ナキ人ヲ違警罪ニ墮サシタメニ偽リノ證據ヲ申述ヘタル者ハ第二百二十條ノ輕罪トナルモノナリ

第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處ス

左ノ十二件ハ前條ノ諸件ニ比ブレハ稍ヤ輕キ罪ナレハ二日以上五日以下ノ拘留ニ行フカ又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ヲ申付ルナリ

一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫リニ火ヲ焚ク者
人家ノ近所ニテ火ヲ焚クハ出火ノ恐レアリ山ヤ林又ハ

田畑ナドニテ火ヲ焚クモ樹木其外植物ヲ害スルノ恐レ
アレハ必要ノ事モナキニ濫リニ火ヲ焚ク者ハ罪トナル
ナリ併シ必要ノ事アリテ爲ス者ハ罪トナラズ故ニ本文
濫リニ〇ノ三字ヲ以テ其意ヲ示メスナリ

二水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦ス可キノ求メテ
受ケ傍觀シテ之ヲ肯セサル者

水難火難其外變事アルニ當リテハ人々互ニ救護スルガ
當然ナレドモ役人ヨリ其難ヲ防クベキ旨求メテ受ケル迄
ハ救護セヌモ罪トナラズ若シ役人ヨリ其求メテ受ケテ
モ開入レズ仍ホ餘所目ニ見テ居ル者ハ罪トナルナリ

三不熟ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物ヲ販賣シタル者
不熟菓物又ハ腐^{ワレヌクダモフ}リタル飲食物ヲ賣リ捌^ワクハ買フタ
ル者ガソレト知ラズニ飲^クニ食^フヒテ腹ヲ痛マセ病氣ヲ引

起ストモアレハ之ヲ賣捌キタル者ハ罪トナルナリ

四健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則又ハ傳染病豫防
規則ニ違背シタル者

健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則トハ人ニ害アル品ヲ
以テ飲物食物ノ色ヲ着ケテ賣ルヲ差止メ又ハ便所下水
ノ掃除ナドニツキ定メアル規則ヲ云傳染病豫防規則ト
ハ虎列刺病天然痘ナドニツキ定メアル規則ヲ云第二百
四十六條以下ニモ傳染病豫防規則ニ背シモノ、罪ヲ揭
ケリ此條ハ其罪ヨリモ輕キ瑣細ノ罪ヲ罰スル者ナリ

五人ノ通行ス可キ場所ニアレハ危險ノ井溝其他四所ニ
蓋又ハ防圍ヲ爲サハル者

衆人ノ往來スヘキ場所ニアル自親持チノ危險井戸又ハ
溝其外四所ニ蓋又ハ防圍ヲセヌ者ハ人ニ危險ヲ與フル

仕業ナレハ罪トナルナリ

六路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嚇シ又ハ驚逸セシメタル者

路上ニテ人へ犬其外猛獸類ヲ嚇ケ又ハ牛馬ナドノ獸類ヲ驚カシテ走ラシメタル者ハ人ニ迷惑ヲ掛ル仕業ナレハ罪トナルナリ

七發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セシメタル者

己レガ親戚ナドニ發狂人アリテ其看守ヲナスへキ役目アル者ガ之ヲ怠タリ因リテ發狂人ナ人ノ往來スル路上ニ徘徊サセタル者ハ人ニ危險ヲ與へ又發狂人ヲモ、アブナクスル仕業ナレハ罪トナルナリ

八狂犬猛獸等ノ繋鎖ヲ怠リ路上ニ放テタル者

氣ノ狂ヒタル犬人ニ噛ミ付ホドノ猛ケキ獸ナドハ堅固

ニ繋キテシカ又ハ小家ナドニ押込メ置カテハ人ニ噛ミ付怪我サスル恐レアルニソレヲ怠タリ人ノ往來スル路上ニ放シタル者ハ罪トナルナリ

九變死人ノ檢視ヲ受ケスシテ埋葬シタル者

人殺シニ逢ヒ、身投テナシ首ヲ縫リタルナド總テ變死人アル時其筋ノ檢視ヲ受ケズニ其儘埋葬スルハ警察ノ取締リガ立タヌニ罪トナルナリ

十墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ汚瀆シタル者

墓所ノ石碑并ニ路傍ニ設ケアル地藏佛庚申ノ碑ナドヲ毀ハシ損シ又ハ泥土糞ナドニテ汚瀆シタル者ハ罪トナルナリ併シ公然不敬ノ仕業アル者ハ第二百六十三條ノ非トナルナリ

十一神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損シタル者

神ヲ祭ル祠、佛ヲ祭ル堂、其外學校、病院、諸役所、教育所、集會所、橋ノ欄干ナド總テ公ケノ建物ニ樂書ヲ爲シ、泥ヲ塗リ又ハ少シク瑕^カナド付ケタル者ハ罪トナルナリ

十三公然人ヲ罵詈嘲弄シタル者但訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

公然トハ多數ノ人ノ居ル前ニテスルヲ云公然人ヲ罵^ノリ嘲ケリタル者ハ罪トナルナリ併シ本人ノ訴ヲ待テ罪ヲ論シ訴ナクレハ罪トハセヌナリ其故ハ之ヲ怒ルモ怒ラヌモ本人ナラデハ知レズ且妄リニ表沙汰ニサレテハ却テ本人ノ耻トナルコトモアレバナリ

第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

左ノ十六件ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ行フカ又ハ二十錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ヲ申付ルナリ

一 濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

差シタル至急ノ用事モナク又場所柄ヲモ顧ミズニ氣儘ニ馬車、人力車、荷車又ハ乘馬ナドヲ疾ク驅ケサセテ往來人ノ邪魔ヲシタル者ハ罪トナルナリ

二 制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者

人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キ込ムハ元來良カラシ仕業ナレトモ役人ノ制止ヲ受クル迄ハ罪トナラズ若シ制止ヲ受ケテモ聞入レズニ其場ヲ牽キタル者ハ罪トナルナリ

三夜中燈火ナクシテ車馬ヲ疾驅スル者

夜中提灯ナクシテモ車馬ヲ徐カニ牽クハ罪トナラテモ若シ之ヲ疾ク驅リタルモノハ人ニ怪我ヲカスルノ恐レアル仕業ナレハ罪トナルナリ

四木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者

木ヤ石瓦ナドヲ道路ニ積ミアケテ圍ヲ設ケズ又ハ標識ノ燈ヲ點ルヲ怠ルキハ人ニ怪我ヲカスルヲモアリテ往來ノ邪魔トナル仕業ニユ罪トナルナリ

五瓦礫ヲ道路家屋園圍ニ投擲シタル者

瓦礫ヲ人ノ往來スル道路又ハ人ノ家屋敷庭ナドニ徒ラニ投ケタル者ハ罪トナルナリ併シ道路ト云フニハ川堀モヨモリ家屋ト云フニハ船舶モヨモルナルヘシ

六禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者

禽獸ノ死屍ヲ人ノ往來スル道路ニ投ケ捨又ハ己ガ掃除場ノ道路ニ在ルモノヲ取リ除クモ度々往來ノ妨ケトナリ得レバ人ノ壯健ニモ害ヲルニモ罪トナルナリ

七汚穢物ヲ道路家屋園圍ニ投擲シタル者

糞尿腐敗物ナド總テ汚穢物ヲ道路ヤ人ノ家屋敷庭ナドニ投ケタル者ハ人ニ迷惑ヲカスル仕業ナレハ罪トナルナリ

八警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタル者

銀冶職製造所洗湯渡世質渡世古着渡世寄席雇人請宿ナド總テ警察上ニテ定メタル規則ニ背キテ工商ノ職業ヲ爲シタル者ハ罪トナルナリ

九醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應セサル者

醫者穩婆ガ人ノ招キニ應シ難キホドノ己ムヲ得ヌ差支
ヘモナキニ急病人ノ招キニ應セヌ者ハ罪トナルナリサ
レ其病氣ガ急病ナラヌ時ハ外ノ人ヲ招クノ優裕アレ
バ罪トハナラヌナリ

十死亡ノ申告ヲ爲サヌシテ埋葬シタル者

己レガ家内ニ死亡人アル時其筋戸長役場ナドヲ云ヘ届
出ズニ埋葬シタル者ハ罪トナルナリ

十一流言浮説ヲ爲シテ人ヲ誑惑シタル者

地震洪水戦争ナド人ノ恐怖スヘキ流言浮説ヲ言ヒ觸ラ
シ人ヲ惑ハシタル者ハ罪トナルナリ併シ穀物并ニ衆人
需用ノ品物ノ直段ヲ在ハサンガタメニシタル者ハ第二
百七十二條ニ見エタレバソレニテ罰セラルベシ

十二妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符咒等ヲ爲シ人ヲ惑

ハシテ利ヲ圖ル者

人ヲ惑ハシテ己レガ利益ヲ得ントスル存意ヨリ梓巫市
子、人相親、賣卜者ナド、稱妄リニ人ノ吉凶禍福ヲ説キ
聞カセ又ハ加持祈禱御符呪咀ナドヲシテ人ヲ惑ハシ利
益ヲ圖ル者ハ罪トナルナリ

十三私有地外へ濫リニ家屋牆壁ヲ設ケ又ハ軒楹ヲ出
シタル者

自親ノ持地外へ濫リニ家屋敷牆壁ナドヲ取設ケ又ハ軒
楹ヲ持地外へ張出シタル者ハ往來ノ邪魔ヲ爲シ人ニ迷
惑掛クル仕業ナレバ罪トナルナリ

十四官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ床店等ヲ開キタ
ル者

官ノ免許ヲ得ズニ路傍又ハ河岸ニ床店ナドヲ開キ設ケ

タル者ハ罪トナルナリ
十五路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ廁場等ヲ毀損シタル者

路上ノ植木市街ノ常燈并ニ廁場ナドハ孰レモ衆人ノ便利ノヲメニ設ケオクモノナレバ之ヲ毀リ損シタル者ハ罪トナルナリ

十六道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタル通行禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄汚損シタル者

道路橋梁其外普請ノ場所ナドニ其筋ノ役所ヨリ榜示アル通行止メノ標并ニ指道標トテ道ノ方角ヲ指シ示シタル標額ヲ汚ガシ損シタル者ハ罪トナルナリ

第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ十錢以上一圓以下ノ科料ニ處ス

左ノ十一件ハ前條ノ諸件ニ比テレバ更ニ其害モ少キニ唯一日ダケノ拘留ニ行フカ又ハ十錢以上一圓以下ノ科料ヲ申付ルナリ

一官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價以上ニ販賣シタル者

訴訟用紙証券印紙郵便切手ノ如ク官署ノ賣捌キノ直段ヲ定メタル品物ヲ其直段ヨリ高ク賣リタル者ハ罪トナルナリ

二渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上ノ通行錢ヲ取リ又ハ故ナク通行ヲ妨ケタル者

渡シ船橋梁其外新開ノ道路ナドニテカテ官許ヲ得テ定メタル通行錢ヲ其定メ直段ヨリ餘分ニ受取リ又ハ出水トカ破損トカ云フ相當ノ事故モナキニ妄リニ人ノ通

行ヲ止メテ妨ケタル者ハ人ニ難澁ヲ掛クル仕業ナレハ
罪トナルナリ

三 渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所ニ於テ其定價
ヲ出サスシテ通行シタル者

前文ハ通行錢ヲ餘分ニ取ル者ノ罪ヲ定メ此條ハ通行錢
ヲ定メ通りニ拂ハヌ者ノ罪ヲ定ムルナリ

四 路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シタル者

路上ニ於テ金錢ヲ人ニ賭ケサセ之レニ當リテ取ラスル
博奕ニ似寄リタル商賣ヲ爲シタル者ハ風俗ヲ亂リ道ヲ
ヲズ利ヲ得ントスル仕業ナレハ罪トナルナリ

五 官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開キ及ヒ其規則
ニ違背シタル者

劇場其外觀物場ハ衆人ヲ集メテ風俗ニモカク事ヲ爲

ス場所ナレハ官ノ免許ヲ得ステハ興行スルヲ許
サヌモノナルニ其手數ヲサズシテ場ヲ開キ又ハ時間
ナドノ限リアル規則ニ背ク者ハ罪トナルナリ

六 溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促ヲ受ケテ溝渠下
水ヲ浚ハサル者

溝渠下水ヲ毀リ損シ又ハ役所ノ催促ヲ受ケテモ仍ホ溝
渠下水ヲ浚ハヌ者ハ惡水ノ流通ヲ妨ケ人ノ壯健ニ害ヲ
與フル仕業ナレハ罪トナルナリ

七 制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他ノ商品ヲ羅列ス
ル者

路傍ニ食物其他何ニ限ラス總テ商賣品ヲ羅列ルハ場
所ニ因リテハ往來ノ邪魔トナルヲモアレハ其筋ノ役人
ヨリ其場ヲ立去ルベキ旨制止ヲ受ケテ仍ホ其儘ニナシ

置ク者ハ罪トナルナリ
八官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放ケ又ハ牧畜シタル者

官ノ免詔ヲ得ズニ牛馬羊豚ナドノ獸類ヲ官ノ所持地ニ放ケ又ハ其地ニテ獸類ヲ畜ヒタル者ハ官地ヲ荒ラヌ仕業ナレバ罪トナルナリ

九身體ニ刺文ヲ爲シ及ヒ之ヲ業トスル者

身體ニ刺文^{刺文}ヲナスハ天然ノ身體ヲ傷ツケ甚ダ見苦シキ仕業ナレハ新タニ自身ノ支體ニ刺文ヲナシ並ニ現在人ノ頼ミニ應シテ刺文ノ仕事ヲ稼業トスル者ハ罪トナルナリ

十他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ解放シタル者

牛馬其他ノ獸類ハ之ヲ放セハ時ニ因リテハ人夫害シ或

被逃ケ失セテ得難キ者ナレバ人ノ繫キ置クモノヲ解キ放ケシタル者ハ罪トナルナリ

十一他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタル者

舟筏ハ繫キ置カテハ流レ失セ或ハ水路ノ邪魔トナルキモノノ繫キ置ク者ヲ解放ナシタル者ハ罪トナルナリ

第四百二十九條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス

左ノ十八件ハ違警罪ノ中ニテ最モ害少ナキ仕業ナレバ之ヲ罰スルニ拘留ノ仕置ヲ用ヒズ最モ高少ナキ五錢以上五十錢以下ノ科料ノミヲ申付ルナリ

一橋梁又ハ堤防ノ害トナル可キ場所ニ舟筏ヲ繫キタル者

橋梁^{橋梁}ノ杭、欄干、ノ類又ハ堤防ノ石垣、沙留杭ナド之ニ舟筏

後ヲ繫クハ其橋梁又ハ堤防ノ破損或ハ水利ノ害トナ
ルベキ場所ニ舟ヤ筏ヲ繫キタル者ハ罪トナルナリ

二牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ又ハ木石薪炭等
ヲ堆積シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

牛馬又ハ馬車、人力車、荷車ナド總テノ車類其外如何ナル
物件ニ限ラズ道路ニ差置又ハ材木、石瓦、薪、炭類ヲ道路ニ
積ミアケテ往來人ノ邪魔ヲシタル者ハ罪トナルナリ

三車馬ヲ並ヘ牽テ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

馬車、人力車、荷車類並ニ乘馬荷馬ナドヲ、道路ニ、ナラベヒ
キテ往來人ノ邪魔ヲシタル者ハ罪トナルナリ

四水路ニ於テ舟ヲ並ヘ通船ノ妨害ヲ爲シタル者

川港ナド總テ諸舟ノ通路トナル水面上ニ舟ヲ並ヘ漕ギ
又ハ並ヘ繫ギテ舟ノ通行ノ邪魔ヲシタル者ハ罪トナル

ナリ

五氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者

氷ヤ雪ヲ嵩多ク路上ニ棄ツレバ往來ノ邪魔トナリ塵芥
ヲ棄ツレバ不潔トナルユエ之ヲ投ケ棄テタル者ハ罪ト
ナルナリ

六官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ爲サ、ル者

道路ノ掃除ハ人々怠ラズ爲スヘキ者ナレトモ之ヲ怠タ
ルノミニテハ罪トナラズ役所ヨリ督促ヲ受ケテモ仍ホ
怠タリテ掃除ヲサス者ハ罪トナルナリ

七制止ヲ肯セスシテ路上ニ遊戯ヲ爲シ行人ノ妨害ヲ
爲シタル者

其筋ノ役人ヨリ差止メラル、迄ハ罪トナラズ制止ヲ
受ケテ聞入レズ仍ホ路上ニテ羽根、突、紙、鷲、獨、樂、投、ナド